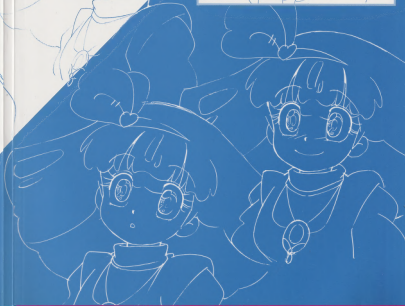
魔法のプリンセス
ミンキーモモ
THIS IS
ANIMATION
Special

雑誌 65285－72
定価1,300円
（本体1,262円）

T1065285721308

THIS IS
ANIMATION
Special
魔法のプリンセス
ミンキーモモ
★小学館★

MINKY MOMO
IN MARINENARSA
Written by Takeshi Syudo
昔むかし……といっても
ほんのすこしだけ
明日に思えるかもしれない
昔のことです。

「この海と……この空のむこうに
いったい何があるのかな。
ここはせまくて、まいっちゃう」
女の子は、マリンナーサの岬の
がけっぷちにすわって、空と海を
見つめては、いつもそう思います。

その答えを女の子は知っていました。

空の上には、泡の天井……。
海のむこうには、泡の壁……。

だって、夢の国マリンナーサは、
地上の人びとが夢と希望を失って
いったために、海の底に沈んで
いった夢の国です。
夢の水の泡にへだてられて、外に
出られませんでした。
女の子にとって、この国は、
めちゃくちゃせますぎました。

そんなある日
女の子は海辺に打ちよせられた
奇妙なものを見つけました。

「それは、きっと人間の船が難破して
流れてきたものにちがいないわ」
海辺にいた人魚たちが
そう教えてくれました。

「それは、人間が
眼で見たものを
思い出として
残しておく
夢の機械じゃと
思うがな」
灯台さんが教えてくれました。
昔、灯台さんが人間とつき合って
いたころは、写真機はまだ、人間
にとって夢の機械だったのです。

「わたしも人間さんの見たものを
見てみたい」
「わしも、今の地上がどうなった
か見てみたいのう」

その夜
灯台さんは、写真機のフィルムに
魔法の光をあてて
空の天井に写し出してくれました。

それは、とっても広くて美しい地上の自然でした。

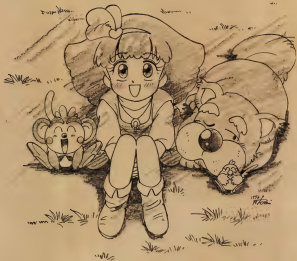
「広くてすてき！　行ってみたい」

「地上の人間が、夢と希望をとりもどしてくれれば、マリンナーサは浮かび上がれるのじゃがのう……」
灯台が悲しそうに言いました。

「じょぶじょぶ大丈夫……だって人間さんは、こんな夢の機械を作れるんだもの。マリンナーサは地上にもどれるわ。いつかきっとね……」

でも、その写真に写っているのは百年以上も昔の地上の風景。まだ地球が青いころのものでした。

女の子が、地上の人びとに夢と希望を
取りもどすため……マリンナーサを
旅立ったのは、
その数日後のことでした。

女の子の名は、
ミンキーモモといいました。

Welcome to
MINKY MOMO
a Princess of Marinenarsa

ようこそ、地上へ──魔法のプリンセス、ミンキーモモ。
小さなからだに夢と希望と、勇気をいっぱいつめこんで
海底ふかくねむる夢の国、マリンナーサから3匹のおともをつれてやって来たプリンセス。
まずは、モモの魅力を写真で御紹介します。
12歳のモモの素顔を集めたベスト・ショットセレクションで、お楽しみください。
この中にきっと、あなたのお気に入りのモモがいるはずです。

Ⓑ

Ⓐ

Opening Selection 1

オープニングには、その作品のすべてのエッセンスが入っています。まず最初は、そのなかからセレクトしたモモのショットをお楽しみください。

〈オープニングスタッフ〉＃1～＃36
プロジェクトチーム・ムー
高山秀樹　高橋久美子　山崎たかし
小曽根正美

＃37～＃62
スタジオジュニオ
堀内　修　古市一郎　古賀　誠
小野ひろみ　西尾彰子

（ⒶⒸⒹ、Ⓕ～ⒾOPより）
（ⒷⒺアバンタイトル）
（ⒿEDより）

Ⓒ

Ⓔ

Ⓐ

Ⓑ

Ⓕ

Opening Selection 2

37話から新しくなったオープニングは、海辺にたたずむモモと、帆船を追って走る姿が印象的です。方舟のイメージなのでしょうか。（ⒶⒷⒹ～ⒼOP、ⒸⒽED）

Ⓒ

Ⓓ

Ⓖ

Ⓐ

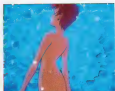
Ⓑ

Opening Selection3

新オープニング（37話以後）で気にかかるのは、モモが遠くを見つめている姿が多いことです。マリンナーサを思っているのでしょうか。それとも、上空はるか地球をめぐる夢のかけら……それとも、消えていった夢の国ぐにに想いをはせているのかもしれませんね。（Ⓐ〜Ⓔ新OP）

Ⓒ

Ⓓ

Ⓔ

Metamorphosis Selection

モモは魔法で、さまざまな職業のプロフェッショナル・レディーに変身します。おとなになったら、なんになる？　子供はいつも自分が大きくなったときの姿を空想します。そして、その夢がかなう可能性はほとんど無限大に近いのです。だから、モモが何に変身できても不思議はありません。だって、モモが使う魔法は〝夢の魔法〟なのですから。

Asokono city

Papas and Mamas

モモには、ふた組の両親がいます。マリンナーサの王様と王妃様、そして、地上では、考古学者のパパと推理作家志望のママです。
(ⒶOP　Ⓑ#40　Ⓒ#16　Ⓓ#40　Ⓔ#32　ⒻOP　Ⓖ#21　Ⓗ#23　Ⓘ#46　Ⓙ#39　Ⓚ#36　Ⓛ#39)

Marine-narsa

Minky Momo

Selection (First half)

ここからは、本編スチールのなかからセレクトした、モモのベストショット集です。
１枚、１枚の写真を見ながら、モモが出会った不思議な出来事や、魅力的な人たちのことを思い出してみませんか。
あ、そうそう……下の写真Ⓑでモモのとなりにいるのが、マリンナーサからついて来たお供の３匹。右から、チャーモ、ルピピ、その下がクックブックです。どうぞよろしく。
（Ⓐ＃２　Ⓑ＃39）

Ⓐ

Ⓑ

Ⓓ

Ⓔ

Ⓒ

Ⓒ魔法で恐竜に変身したモモ。ミンキーザウルス？（＃4）。Ⓓ（＃4）。Ⓔモモが抱いているのは、珍獣フクロネコ（＃3）Ⓕ（＃7）。Ⓖモモのナイスショット！　チャーモにおだてられて、モモはいい気分。でも、この後ほんとうにプロと対決することになるのですが……（＃8）。

Ⓕ

Ⓘ

Ⓚ

Ⓗ（＃22）。Ⓘレジェンドパークでサバイバル体験したモモ。夕陽をあびてのびのびしています（＃21）。Ⓙ（＃18）。Ⓚサールトコ王国の王女・セシルといっしょのベッドで、はしゃぎすぎ？（＃26）。Ⓛ冒険小説を読んで、サバイバル体験にあこがれるモモ（＃28）。（Ⓜ＃18　Ⓝ＃21　Ⓞ＃19　Ⓟ＃27　Ⓠ＃11）

Ⓙ

Ⓔ

Ⓓ

—Intermission—

Ⓐ

Ⓕ

Ⓑ

Guest Ladies Selection

ここでは、この番組に登場した多彩なゲストのなかから、ちょっと気になる女性たちをピックアップしてみました。

Ⓐ〜Ⓒ地上の魔女・ブレンダ。気が短かくてお金が大好きなチャッカリ娘。でも、それにはわけが……（＃19）。Ⓓ氷の女・アイリーン。「わけのわからないもの、凍らせてあげる♡」（＃12）。Ⓔ女ガンマン・ジェーン（＃９）。Ⓕマリンダ（＃45）。Ⓖ女流作家ジャネット（＃10）。Ⓗライム姫（＃14）。Ⓘ女忍者かえで（＃15）。Ⓙ看護婦のマリーさん（＃20）。Ⓚ花の番人フローラ（＃24）。Ⓛポプリコット（＃24）。Ⓜチェリードール（＃27）。Ⓝメアリー（＃30）。Ⓞ悪い子の国の門番（＃41）。Ⓟノコッタインにいた美女（＃38）。Ⓠハロウィンでゴーゴンに扮装した美女（＃40）。Ⓡラミちゃん（＃41）。Ⓢ人魚姫の娘（＃42）。Ⓣリリト（＃44）。

Ⓒ

Minky Momo
Selection (Latter half)

ゲストキャラ集をごらんいただいたあとは、ふたたび、モモのベストショットでお楽しみください。

Ⓐちょっときどってポーズをとって……。いつでもＴＶデビューＯＫよ(♯33)。Ⓑ(♯33)。Ⓒお祭りってなぜかワクワクするのよね♡(♯40)。Ⓓ(♯38)。Ⓔ(♯38)。Ⓕ(♯36)。Ⓖ(♯40)。Ⓗ(♯40)。

Ⓑ
Ⓐ
Ⓒ

Ⓙ

Ⓚ

Ⓛ

Ⓘ

Ⓘ(＃43)。Ⓙ悪い子ルックのモモ。でもなりきれてないのはな～ぜ?(＃41)。Ⓚ(＃41)。Ⓛ(＃41)。Ⓜめずらしいぬれた髪のモモ。けっこうイロっぽかったりして……(＃42)。Ⓝヨットの扱いもお手のもの！　さすがマリンナーサのプリンセス(＃42)。Ⓞヒップラインがくっきり♡(＃42)。Ⓟママの夢の中のボロボロモモ(＃43)。

Ⓡ

Ⓠ

Ⓢ

Ⓠ北の国の少女リリトといっしょに(＃44)。Ⓡ美少女と呼ばれて、照れながらもちょっとムカッ！（＃45)。Ⓢちょっと今回は真剣よ(＃45)。Ⓣいったいなにをやってるのかしら、(＃44)。Ⓤ魔法よお願い！(＃45)。Ⓥ美少女ふたり♡(＃44)。Ⓦなるよになるしかないだばよ(＃44)。

Ⓤ

Ⓣ

Ⓥ

Ⓦ

レジェンドインが消えた後、モモたち一家は新しいお家に引っ越してきました。
そこでモモは、「夢の国」フェナリナーサのプリンセスのことを知り、会いに出かけます。
そして、やっとたどりついたロンドンで、
モモは、もうひとりのモモと出会うことになるのです。
これから、そのお話しをしましょう――――それは、こんな悪夢からはじまります……

〈ミンキーモモ 39話 フィルムストーリー〉

Momo meets Momo

モモとモモ

むかしむかし……
夢と希望にあふれた「地球」という名の星がありました
その「地球」には
夢と希望がめいっぱいありましたから
夢の国もいたるところにいっぱいありました

①いたるところに夢の国があって、人びとは自由に行くことができた。

②ところが、人びとが夢と希望を失ったせいで、夢の国は地上から消えていった。

③海の上にあったマリンナーサという夢の国も……。

④海の底へ、底へと沈んでゆくマリンナーサ…これではいけないというので…。

⑤マリンナーサの血をひく少女が、やって来たのです。

6「ミンキータッチで、夢よ希望よ、もどってこーい／」

7モモの魔法で、地球に夢と希望があふれてくる。

⑧マリンナーサをとりまく海の深度が、どんどん浅くなっていく。

⑨「マリンナーサが浮かんでいくんダバ」王様は大よろこび。

⑩海面まで、あと5千メートル、2千、1千……そして、ついに海面に浮上した。

⑪マリンナーサの王城のトビラがひらくと、そこは……！

⑫ボーゼンとしてしまうモモ。いったいなにが、あったのか？

⑬マリンナーサが浮かびあがったのではなく、地球がひあがったのだ！

⑭この地球から夢と希望が消え、人間も動物も死にたえてしまったのだ。これでは、マリンナーサの中に夢がいっぱいにあふれていても、夢をもつ人がいなくてはどうにもならない。

⑮「夢見る人がいなくては、夢はないのと同じですわ」。王様たちの姿が消える。

⑯「……われらも滅びるのみ……だよね」クックブックたちの姿も消えていく。

⑰まわりの地面も消えてモモの姿もうすくなる!?

⑱ハッ！ と目をさますモモ。夢だったのか。でも、夢ということは…。

⑲「わしらは夢の国の住人……夢はわしらにとって、かなうのがあたりまえじゃからなァ」

⑳地球のまわりに漂う夢のかけら。そのいくつかが地上に落ちてくる。

㉑モモたちのいる、ノコッターインの窓から中にとびこんで来る夢のかけら。

㉒地下室の中に入った夢のかけらを、追って行ったモモたちが見たものは……!?

㉓突然、モモたちの目の前で、夢のかけらがはじけとぶ。

㉔目の前にならんでいるのは、いろんな魔法のアイテムだった。

25 その中のひとつ、魔法の電話が鳴った。電話の相手は、マリンナーサの王様。

㉖「宇宙にとびちった夢のかけらが落ちてきて、魔法の力のもとになったんダバ」

㉗「説明します……」突然、鏡台が話しはじめる。

㉘「人びとに夢と希望をあたえることができれば……」

㉙「ペンダントが光り……それを受けて……」

㉚「この宝石箱が光ります」ちなみに、これは練習。

31 魔法の道具は、エネルギーがあれば使えるらしいのだ。

㉜この部屋は、フェナリナーサの夢の力が残した魔法道具のかくし場所。

㉝モモは、自分とよく似た女の子の写真を見つけた。

㉞それは、フェナリナーサのミンキーモモの写真だった。

㉟フェナリナーサのモモは、人間に生まれかわって、今はモモとおなじ年頃だという。

㊱パワーアップした魔法の力で、一瞬にしてついたのはフェナリナーサのモモのお墓の前。

㊲人間に生まれかわったモモは、もうお墓にはいない。ふたたび魔法を使う。

㊳次に着いたのは、フェナリナーサのモモがいた昔のお家。ペットショップだ。

㊴「おやまあ、モモちゃんいつ帰って来たんだい？」と、店の中の人が出て来た。

㊵どうやら、マリンナーサのモモを、フェナリナーサのモモとまちがえたらしい。

㊶もうひとりのモモは、ロンドンにいるという。

㊷ペットショップの人に教えてもらった住所はこのあたりのはずなのだが……。

㊸「ロンドン、どんどん来てみたけれど……」。モモは、とある家の中をのぞきこんだ。

㊹「ハロー、うちになにか御用ですか？」。と、いう声にふりむくモモ。

㊺モモの目の前には、モモとそっくりのもうひとりのモモが立っていた。

㊻おたがいに、しばし見つめ合ってしまう。

㊼「モモちゃん？」と、マリンナーサのモモはきいてみた。

㊽「はい。あなたは？」「モモ……です」ふたりは、すぐにうちとけ合った。

㊾公園から、サッカーボールがとび出して来る。

㊿「ボールとってくださーい」公園から子供たちの声がする。

51ボールをひろったモモの足下に、コツンとなにか当たる。

52それは、子供が乗った、オモチャの自動車だった。その時、ほんもののトラックが猛スピードで走って来た。かろうじて子供の自動車をさけたものの…／

53道路に立っているモモの方へ、つっこんで来た。もうブレーキも間に合わない!!

54「魔法よ、モモちゃんを助けて／　おねがい!!」

55道路の上にたおれたモモを見つめる、モモ。

56「こんなことって……魔法がきかない……!?」

57「お――っ、動いたぞ」子供たちの声が……。

58ハッ、と顔をあげるモモ。助かったの？

59「わたし、小さいころから車よけるのなれてるから」

60「どうして、魔法がきかなかったんだろう」。モモにはわからない。

61モモはもういちど、もうひとりのモモに会いに行く決心をした。

62元気いっぱいに働くもうひとりのモモを、モモは発見した。エントツそうじをやっているのだ。

⑥③「ードリーミング、きっと～夢がかなうわ……」モモが歌っている。

⑥④「そう、きっと夢がかなうわ」そうつぶやいているモモの表情には、夢と希望があふれている。

モモはいました
屋根の上に……

わたし、教えてあげようと
思いました
あなたは
フェナリナーサから来た
夢の国の子だったんだって……

でもわたしには
なにも声がかけられませんでした
今のモモちゃんは
魔法を信じていない
というより
モモちゃんの夢に
魔法なんかいらない気がしたんです

⑥⑤「魔法を使うには、夢のエネルギーがたくさん必要です……」

⑥⑥「夢のかけらは、いつまでそれにたえられるでしょう」心配顔の王妃様。

⑥⑦「ダバなあ……」いつもは明るい王様も、考えこんでしまう。

今日――
また車にひかれそうになりました
でも
それより変わったことといえば……
わたしとおなじ名前の
女の子に会ったことです

いつの間にか
いなくなっちゃったけど
たぶん
また会えるような
気がします
きっとね……
かならず……
うん!

Welcome to MINKY MOMO a Princess of Fenarinarsa

マリンナーサのモモが出会った、もうひとりのモモ………
フェナリナーサのミンキーモモは、どんな女の子だったのでしょうか。
フェナリナーサは、マリンナーサとおなじように、ひとびとが夢を失ってしまったために
地上からはなれ、宇宙空間に漂い出た「夢の国」でした。
いまから10年前、'82年に放映された『魔法のプリンセス　ミンキーモモ』のフィルムと
全話ストーリーダイジェストで、フェナリナーサのモモのことをお話ししましょう。

ようこそフェナリナーサの
ミンキーモモ

②月に光の輪がかかる。この光こそ、フェナリナーサと地球を結ぶ橋なのだ。

③月にかかった光が七色のオーロラとなって散ったあと……。

①

▶フェナリナーサの両親、王様と王妃様 1人娘のモモを気づかっている

⑥モモはそのまま降りていく。

⑤「ミンキーモモ、デビュー！」

④光の橋をひとりの少女がすべり降りてきた。

▲地球での両親、パパとママ。ペットショップを経営している

⑧その家の子供として暮らし始めた。

⑦たどり着いたのは、1軒のペットショップ

▲モモのお供の3匹。左からモチャー、シンドブック、ピピル。

月がオーロラに包まれた夜には、とってもなく素敵な事が、おきるんです。そう、そんな夜にミンキーモモはデビューしました。

ほんの少しだけ昔、どこかの宇宙のなかに、フェナリナーサという夢の国がありました。

フェナリナーサのミンキーモモは、女王の試験もかねて、現実の世界へやってきました。モモが、「良いこと」を4回するごとに1個、冠に宝石がはまるのです。その宝石が12個そろうと、フェナリナーサは地球へ戻れるのだそうです。でも、モモは、そんなことは知りません。「出かけていって良いことをたんとしておいで……」と言われただけなのです。モモが魔法のステッキにじゅもんをとなえて振ると、18歳の女性に変身して、様々な職業のプロフェッショナル・ギャルになり、いろいろな事件を解決していきます。

でも、モモは12歳の女の子。遊びたいお年頃なのです。とってもはつらつとしていて、ちょっとおしゃまなモモの行動に、お供の3匹・犬のシンドブック、猿のモチャー、小鳥のピピルは、振り回されてしまいます。フェナリナーサの王様・王妃様や地上での両親も、モモの行動からは目がはなせません。

こうして、ミンキーモモの魔法の冒険が始まったのです。

ピピルマ　ピピルマ　プリリンパ
パパレホ　パパレホ　ドリミンパ
アダルトタッチでおとなにな〜れ

★ここでは、ミンキーモモの変身シーンをごらんいただこう。顔のアップ①から、くるりとひと回りして(②−④)、ペンダントからステッキをとり出す(⑤−⑥)。投げて、還ってきたのをキャッチして上に向けると(⑦−⑫)、ステッキの先からリボンが出てくる(⑬−⑭)。

ミンキーモモの魅力のひとつは、この変身シーンでしょう。12歳の女の子がどのような18歳の女性になるのか、とても楽しみなところです。ミンキーモモの変身は、ペンダントからステッキがでてきて変身しますが、それまでの「魔女っ子もの」といわれるアニメーションでは、小道具を使った変身は少なく、当時としては斬新なものでした。

この変身シーンは、シリーズ途中からのもので、最初はただステッキを振る簡単なものだったのです。ちょうどその時、新体操ブームで、山崎浩子さんが注目されていました。そこで、モモもステッキからリボンを出し、新体操よろしくステッキを振るというこのパターン(11〜46話)になったのです。作画はスタジオ・ライブのわたなべひろし氏でした。

この変身シーンにあわせて、スポンサーのおもちゃ会社がミンキーステッキを発売し、好調な売れ行きでした。

この他の変身シーンは、モモのステッキが新しいものにかわってからのもの(49〜63話)で、こちらはリボンではなく光の束がステッキから出てきて変身する…というものになりました。

変身しておとなになっていくモモが裸であるというのも、驚きでありました。子供らしいモモから、おとなの魅力を持ったモモへとメタモルフォーゼする途中の1ショットでしたが、それも画期的だったのです。

モモの変身シーンは、その後の「魔女っ子もの」にかなりの影響を与えました。

ゲストキャラクター美少女名鑑

▲ジュディ。サーカスの空中ブランコのスター。昔、パパをなぐさめてくれたエレーヌの娘。母の死後、スランプに陥っていたが、モモの協力で立ちなおった。(37話)

▲フェアリー。花の咲かなくなった公園で、花の絵を描いていた少女。妖精たちを呼び出すために、悪夢と戦うモモの味方になる。(59話)

▲チャコ。魔のボンミューダトライアングル海域で消えた父親を捜していた。顔のわりには、思いきった行動をとる。(27話)

▲エリカ。大妖怪ウラヌスのもとへいけにえの花嫁として捧げられようとしていたヒル村の少女。(26話)

▲サキ。女だけの野球チーム「ミラクルズ」のエース。男性への対抗意識はすさまじいほど。強肩にして強打者の美少女。(25話)

▲サラ。愛するアロンのために死してなお、雪の精となって恋人の前に現れた。アロンのさし出したスープを飲み、溶けて消えた。(38話)

▲ララ。サンフランシスコの花売り娘から、突然の遺産相続に巻き込まれ、モモと西部劇はだしの旅をする。(16話)

▲リリー。霧の山鉄道を守る若き社長ジャックの恋人。ラストはジャックとハッピーエンド。(15話)

◀レイ。地底王国で恐竜たち相手にひとりで暮らしている。(34話)

「魔法のプリンセス・ミンキーモモ」には、様々なエピソードがつまっていました。その中には、話に華をそえた美少女キャラクター達が、多数登場しました。

ミンキーモモのゲストキャラクターは、その話の担当作画監督や、キャラクターデザインの芦田豊雄氏によって描かれていました。そのためにキャラクターデザインがバラエティに富み、よい味がでていたようです。

芦田豊雄氏は、20話の後半ぐらいからゲストキャラクターを描き始めているのですが、氏の持つ独得の持ち味がうまく画面に出ていました。ちなみに、わたなべひろし氏も、ちょこっと描いています(50話の白雪ちゃん、46話のモモのパジャマなど)。

▲白雪ちゃん。死んでしまったのだが、ユメイロアゲハとなっておとぎ森を守っている。(50話)

▲チムル。南海のパバリ島に住む娘。祖父のガガンコと海底の宝さがしをしている。(18話)

▲キャニー。暴走族「赤いスカンク」のリーダー、ジムルの妹。お兄さん思いのやさしい少女。(3話)

▼ミンキナーサ。番外編として登場してもらいました。(31話)

▲デビルクィーン。美少女とはいえないが個性豊かなキャラ。(55話)

▲ミイちゃん。幽霊のおじいさんのイメージの少女。70年前の姿。(36話)

▲マッチ売りの少女。名作童話の代表的美少女。(30話)

◀シベール。超能力を持つ、のどかな村に住む少女。(56話)

▲70身合体ゴッドスルメッチ。(31話)

これらの美少女キャラクターは、かならずモモと関わってストーリーを展開していくのですが、やはりモモのキャラクターにはかないません。しかし、レイ(34話)だけは、モモと人気を二分するキャラクターとなってしまいました。地底の国のプリンセスという気品が、そうさせたのかもしれません。

本編中、たったひとつの巨大ロボット話…番外として、ミンキナーサとゴッドスルメッチに登場してもらいました。「魔女っ子もの」でも、こういう話ができるんだぞ、というのを見せてもらった、編で、「ミンキーモモ」のストーリーの幅の広さには驚かされてしまいました。31話のBGMに、「ゴーショーグン」を使用していたり、遊び心もあったのです。

プロフェッショナルモモ!

おとなになったら何になる? ミンキーモモは、そんな願いを魔法のステッキで変身して見せてくれました。その道のエキスパート! プロフェッショナルレディーになるのです。看護婦さんや野球選手、中には宇宙人なんていうのもありました。

いろいろな職業のプロフェッショナルになって活躍したモモですが、やはり女の子。18歳の普通の女の子になったモモのペンダントをひろってくれた、アニメーターの青年ジョニーに恋をしてしまうのです。

ここではごく一部でしかありませんが、ミンキーモモの変身したプロフェッショナルレディーの勇姿を見ていただきましょう。

▼白雪ちゃん。(50・55・61話)

▼ウェスタンスタイル。(16話)

▼看護婦さん。(7話)

▶コンピューター・プログラマー。(19話)

◀機関士。(15話)

▶パイロット。(42話)

▲絵描き。(36話)

▲宇宙人。(29話)

▲野球選手。(25話)

▲魔法の女王様。(24話)

▲快傑ブラックキャット。(56話)

▲快盗レッドキャット。(12・41話)

◀▲ふつうの女の子。(43話)

▼花嫁。(26話)

◀宇宙飛行士。(30話)

▶爆弾技師。(42話)

▲婦人警官。(36話)

①「ムニャ、ムニャ」普通の日の普通の朝

②「起きなさい、モモ」「寝る子は育つ、もうちょっとね」「それでは……」

③「キャピ!!」驚いて起き上るモモ。ママはふとんむしりの天才なのだ。

④「グットモーニンク。ママ」「うむ、よろしい」

⑤とってもいい天気。陽さしをあびるモモ。

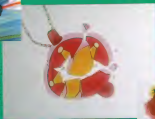
⑥クローゼットから、いつもの服をとりだして……

⑦脱いだパジャマは、3匹のふとんとなってしまった。

⑧スカートをはいて。

⑨そでをとおして。

⑩カチューシャをつけて。

⑪鏡で服装チェック。

⑫胸に手をあてて、ペンダントがもうないのを確認してしまうモモ

⑭「あっ！」驚くモモ。それは夢であった。

⑮変身しようとしたらステッキが消えてしまった。

⑯放課後、公園でひとりたたずむモモ。

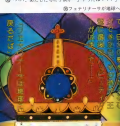
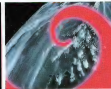
⑰オモチャの自動車に乗った子供が、モモをからかってきた。

⑱ボールを追って道路まできてしまったモモ。ボールをひろいあげる。

⑲その時、トラックが猛スピードで走ってきた。運転手がハンドルを切った先には……。

⑲「!?……」

⑳突然の出来事に、たたずむだけのモモ。

㉑皮肉にも、モモをはねたトラックは、子供に夢を与えるオモチャを積んでいたのだ。

㉒悲しみにくれる地球のパパとママ。

㉓3匹も涙をこらえる。

㉔墓の前の写真に花がかざられた。

㉗星空に浮かんだモモは、フェナリナーサの両親に語りかけた。

㉕「どうしてこんなことに……」と王妃様。

㉖「パパ、ママ」モモの声にびっくりする王様。

㉘赤い光が地球に向って落ちていく。

㉙その赤い光は、モモだったのだ。

㉚「パパ、あたしたちに子供が…」「やったねママ！」

㉛ひとつしか思い浮かばない名前。「モモ」

㉜ママも、「モモ」しか考えられなかった。

㉝ゆりかごの中で、やすらかに眠る女の子。

㉞生まれ変わったモモを見守る3匹。

㉟フェナリナーサが地球へ戻るには…。

「見える、見えるわ。フェナリナーサのおりてくる日が……」

㊱夢と希望がいっぱいの赤ちゃんのモモにはフェナリナーサが見える。

㊲新しいステッキを受けとり振ると、12歳の自分に変身するモモ。夢の住人も次々と地上へ降りていき……。パパもママも昔の姿にもどる。

㊳地上に降りてきたフェナリナーサの夢を見ながらまどろむ、赤ちゃんのモモ。いつかきっと夢がかなうと、信じているのだろう。

㊴フェナリナーサのパパとママ、ペットショップのパパとママを会わせるモモ。

前のページからのつづき

少女コミック用の挿し絵のひとつ。

アニメ設定用
キャラクター原案

55ページのイラストの線画。アニメーション用に、線を処理して動かしやすくしたものらしい。魔法のステッキが、モモの物とある程度同じであるのが分かる。

連載第1回目を完全収録!!
魔法のプリンセス
ミンキーモモ
みさき のあ
ここは
夢と希望の国
フィナリナーサ国
地球の
おとなりさん
そろそろ
千年の眠りから
さめようとしています
ケッコー
ケッコー
王さま
起きんしゃい
王さま
起きんしゃい
眠りはじめて
千年間
そろそろ
起きたが
いいんじゃ
なーい?
う〜ん
もちっと
もちっと
もぞ
もぞ
あなた
王さまたるもの
国で一番はじめに
起きるのが
しきたりですわ
わかっただば
わかっただば
ねえ
きみも
起きたら……
わたくしは
もう少し
あなたは
朝の見回りでも
すませて
らっしゃいませ
だば
だば
王妃は出身が
眠れる森の美女
だば しゃないか
ごろん
やや?
地球さん
どこに
いっちまった
だば
地球さん
地球さーん
わっ
ワーだば
ワーだば
なんちゅう
ことだば
地球は
あんなに遠く
こりゃ
もしかしたらば
一大事!?
えらい
こっちゃ
えらい
こっちゃ
わしらが
眠っているうちに
地球のみんな
夢や希望や幸福を
信じなくなって
しまっただば
だから
フィナリナーサ国は
地球から離れて
しまったんだばさ
こうなったら
広間にある
王冠に
宝石を十二個
はめねえと
フィナリナーサ国は
地球に
戻らないだば
王家の血をひくものが
いいことをして
だれかに夢と希望を
もたせることができたなら
その四国ことに一個ずつ
宝石がはいります
十二個をめざして
がんばりましょうね
王家の血をひく
子ども…?
ミンキーモモしか
いないだば
いよいよ時が
きたのですね
やっとおめざめだば
わし
いそがしかったんよん
モモは起きただか?
ふあ〜〜
モモ?
地球へ行って
よいことを
たんとして
くるだば
いいことって?
このペンダントが
光ったときが
あなたが
よいことをした
証拠なんです
うん
がんばっちゃう
いいですか?
あなたの魔法は
夢の世界を信じない
地球の人には
ほとんど通じません
いいだば
いいだば
そのかわり
お供をつけて
あげるだば

フェナリナーサのミンキーモモ設定集
●ミンキーモモ
どこにでもいるような好奇心の強い女の子。ところが、魔法で18歳の様々な職業のプロフェッショナル・ギャルになる。ただし、恋についてはまだ経験不足。
18歳になったモモの基本プロポーションスタイル。
●シンドブック
おっとりしたのんびり屋。そのくせニヒルに割り切った考え方をする。博識で、世の中のことを知りつくしていると自分では思い込んでいる。
●ピピル
おしゃれで、いつも恋を夢みる小鳥。つい小鳥であることを忘れてしまい、いつも一目惚れをしては、失恋する。モモの情報係。
●モモが住むペットハウス
●ペンダント
●ポシェット
●ステッキ
モモがいつも身につけている魔法小道具。ペンダントからステッキが出てくる。
●モチャー
正義漢で熱血漢。モモを、ヒーローのつもりで守ろうとするがいつも失敗してしまう。シンドブックとは、口げんかが絶えない。
●ブルメポッポ
魔法のエネルギーで動く乗り物。魔法の乗り物なので、子供のモモでも運転ができる。

●フェナリナーサのミンキーモモ　'82. 3／18～'83. 5／26放映

全話ストーリーダイジェスト

フェナリナーサのミンキーモモの全63話のストーリーを、現在入手可能なキャラクター設定を折り込みながら紹介していく。
なお、メインキャラクター設定は、わたなべひろし氏によるビデオ「夢の中の輪舞（ロンド）」のものを掲載しました。

●準備稿（戸田豊雄・画）

●準備稿（戸田豊雄・画）

▲王冠の間

▲王冠にはまるハッピーティア。

◀フェナリナーサの王国全景

●パパ

世界的に著名な獣医で世界中をとびまわっている。モモも月に一度位は、パパを追って飛び出していく。二枚目タイプだが心の広い、ソフトな人。

●ママ

留守がちのパパに代わって、ペットショップをきりもりしている。美人だけど、とてものんびり屋さん。このママにはさすがのモモもやきもきしがち。

●フェナリナーサ王

人間達と夢の世界を近づけようとしている。自分の娘を地球に派遣した危機感などまるでないのんびり屋。

●フェナリナーサ王妃

王様とは全く不つりあいの絶世の美女。王様とは逆に、モモの冒険に気をもむ心やさしい母親。

第1話 ラブラブ・ミンキーモモ 3／18放映

どこかの国のどこかの町に、ミンキーモモがやってきた。彼女は夢の国のプリンセス。モモはお供の三匹とともにペットショップの家で生活を始める。そんなある日、モモは競争馬ヒーローシンボリーの治療をすることになった。魔法のステッキで看護婦に変身し、病気は直したものの、牧場の命運がかかったファイアー賞出場はとても無理。そこでモモは女ジョッキーになり、シンボリーの弟馬ガチョーンシンボリーを駆って見事優勝した。

脚本／首藤剛志　演出／湯山邦彦　絵コンテ／湯山邦彦　作画監督／田中保

第2話 メガネでチャームアップ 3／25放映

ペットショップに連れてこられたメリージェーンは、目のまわりに黒いブチがある子犬。「人間に生まれたかった」という彼女を、モモは翌日、メガネギャルに変身させた。カメラマンにスカウトされモデルになるメリージェーン。だが、犬の姿に戻った彼女はアフリカへともらわれていった。

その後、例の写真でメリージェーンはキャンペーンガールに選ばれる。モモはメガネギャルに変身し、彼女の代わりを務めるのだった。

脚本／筒井ともみ　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／小島正幸　作画監督／柴崎計

第3話 走れスーパーライダー 4／1放映

町の嫌われ者の暴走族。そのリーダーのジムルは、本当は優しい男の子。彼の妹キャニーは、昔の兄に戻ってほしいと彼を見守っていたが、ついに警察と暴走族が対決する時がきてしまった。ジムルが町を一周する間にパトカーにつかまったら、暴走族を解散することを約束に、鬼ゴッコが開始された。モモも白バイ隊員となりレースに参加!!白熱したレースの末、モモに握手を求めるジムルは、今日限り暴走族をやめると告げた。

脚本／戸田博史　演出／西村純二　絵コンテ／西村純二　作画監督／上條修

◀ガチョーンシンボリー・シェイプアップ後。（1話）

▼メリージェーンとポインター成犬（2話）

▲▶キャニー　兄想いのけなげな少女（3話）

▼ユスラレル国のタムタム王子（5話）

▲タムタム王子のお付きのじいや。

▲暴走族「赤いスカンク」のメンバー。

◀警察署の署長。（3話）

◀テニスチャンピオンのジミー。（6話）

▶ティム　バラの花を育てている。

◀ケンの家にあるフェナリナーサの地図。

▶モモの学校の女性教師。（4話）

（右）（左）（6話）

▲木馬と龍がひく馬車。（4話）

▲プロのモデルに変身したモモ（2話）

◀人間に変身したメリージェーン

▲モモのジョギング姿（2話）

▲アフリカの保護官（2話）

第4話 青い鳥をみた少年 4／8放映

青いインコを、青い鳥だと言って飼っている少年ケン。モモが訪ねた彼の家には、フェナリナーサの地図があった。彼はその存在を信じているのだという。フェナリナーサは、人々が夢や希望を失くしたため、地球から遠去かってしまったのだ。それをもとに戻すには、再び人々が夢や希望を持たなくてはならない。モモはそのために地球に来たのだ。一週間後、ケンの家が火事になり、モモは消防レスキュー隊員として救出に向かった。

脚本／首藤剛志　演出／山田雄三　絵コンテ／湯山邦彦　作画監督／神宮慧

第5話 ワルガキ王子大混戦 4／15放映

偶然耳にした、タムタム王子の暗殺計画。それを知らせに行ったモモたちの前に現われたのは、レストランで会ったワルガキだった。

狙撃は失敗に終わったが、次ぎは飛行機が危いと聞いたモモはスチュワーデスに変身。機内に殺し屋は現れなかったものの今度は王子が脱走した。なんとか殺し屋から王子を守ったモモだが、王子の不まじめな態度に思わず平手打ちをするモモ。モモの真心に王子は感動するのだった。

脚本／筒井ともみ　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／野田作樹　作画監督／田中保

第6話 テニスコートに赤いバラ 4／22放映

全国大会出場のために帰郷するジミーのため、ティムたちはテニスコートを整備し、ジミーの好きなバラの花を育てて歓迎準備を進めていた。だが、ジミーは貧しい家の出が知れるのを恐れ、会いにきたティムたちを追い返してしまう。怒ったモモはテニス選手に変身し、ファンや記者の前でジミーを散々に打ち負かす。失意のジミーをあたたかくむかえるティムたち。改心したジミーは、モモの特訓を受け、優勝を果たした。

脚本／鷺山京子　演出／吉田健次郎　絵コンテ／吉田健次郎　作画監督／田中保

第7話 ナイチンゲールはお好き 4/29放映

看護婦になりたいと言っていたアンが入院先の病院をぬけ出した。原因は婦長たちの厳しい看護態度だと知ったモモは変身し、優しい看護婦もいることをアンに教える。心を開き始めた頃、激しい発作に見舞われるアン。そのときモモは知った。婦長の厳しさは、アンを病気から守るためだったということを。モモは協力して、手術は無事成功した。全快したアンは「私、看護婦になります！」といって瞳を輝かせた。

脚本／渡辺由自　演出／山田雄三　絵コンテ／野村和史　作画監督／神宮慧

第8話 婦人警官ってつらいのネ 5/6放映

モモにラブレターが来た。待ち合わせに急ぐモモ。だが、婦人警官になって人助けをしたために、新米婦警のマリーに先輩だと思われてしまう。

車ドロボーにセマられたり、コソドロに泣きつかれ、お次は銀行強盗と対決。公園につけばギャングのなわ張り争いに巻き込まれて大乱闘。そこへ同じ文面のラブレターがふってきた。怒ったモモは差し出し人の不良を平手打ち！　乱闘はおさまったが、モモの心にはちょっぴり傷が残った。

脚本／土屋斗紀雄　演出／西村純二　絵コンテ／西村純二　作画監督／上條修

第9話 森の音楽祭 5/13放映

シンガーソングライターのマックは、自分の曲を見てもらおうと、作曲家のグラムを訪れた。だが、グラムと歌手のガナールに曲を盗まれ、TV（テレビ）で発表されてしまう。森の動物達にはげまされ新曲を完成させたがそれもガナールに横取りされた。モモはマックのために歌手に変身し、ガナールを出し抜いて音楽祭でその曲を歌う。見事グランプリを獲得し、舞台上でモモはマックこそこの曲の作曲者だと発表するのだった。

脚本／戸田博史　演出／古沢日出夫　絵コンテ／古沢日出夫　作画監督／田中保

第10話 ハイウェイ大追跡 5/20放映

お金持ちのセーラばあさんは、ケチで嫌味な町中の嫌われ者。町内のバス旅行にタダで参加したおばあさんは、三人組に誘拐されてしまう。それを見たモモは、バスの運転手に変身して追跡開始。一方、逃走中の車の中では、おばあさんが2人組からハンドルを奪っていた。

助けにやって来たモモにおばあさんは言った。「まだまだ世の中、おもしろいこともいっぱいあるのがわかった。イジワルはやめじゃ。」

脚本／渡辺由自　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／大庭寿太郎　作画監督／神宮慧

第11話 恋の美容師よ子猫ちゃん 5/27放映

パパのあとを追ってきたロンドンで、モモはドラ猫のハリーと知り合う。彼は、ローズマリーの恋人だったが、二匹の飼い主の、ウォーカー夫人に誤解され、屋敷を追い出されてしまったのだった。モモは猫の美容師になり二匹を会わせ、そして二匹が一緒になれるようローズマリー誘拐を計画した。決行当日、本物の猫泥棒が現われ、モモはハリー達と協力し無事に彼女を救出。ウォーカー夫人も自分の誤解に気付き、二匹を心から祝福した。

脚本／金春智子　演出／山田雄三　絵コンテ／小島正幸　作画監督／紫崎計

第12話 怪盗ルピン大反撃 6/3放映

以前、婦警モモに一見ボレしてつかまった怪盗ルピンが、刑務所を脱走した。彼は実は大金持ち。彼の息子ペペはなんとかルピンに泥棒趣味をやめてもらおうと、その説得を婦警モモに頼もうとしていた。話を聞いたモモは、怪盗ルピンの狙う獲物を次々と先回りして盗んでしまった。さらに、マスケ面の2人組がルピンとして逮捕され、ニュースでそれ知ったルピンは引退を決意。盗品返しに転業することにした。

脚本／土屋斗紀雄　演出／石田昌平　絵コンテ／野田作樹　作画監督／田中保

第13話 魔術師と11人の少年 6/10放映

サッカーコーチに変身したモモは、少年サッカーチームの指導をすることになった。キャプテンのラムの父は町の名士。家庭教師の目を盗んで練習に通うラムだったが、試合当日、新市長のパーティーに無理矢理連れていかれてしまう。そこでモモはマジシャンになって会場へ。ラムを消すマジックで彼を脱出させるのに成功。試合はラムの大活躍で圧勝した。連れ戻しに来た父も、それを見てラムがサッカーをすることを許すのだった。

脚本／戸田博史　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／兵頭敬

第14話 ゴールはいただき激走レーサー 6/17放映

ある日、店のウインドーにラジコンカーが飛び込んできた。それは、ラジコンのグランプリレースで優勝を狙う兄弟のものだった。兄のケンは、自分の自動車修理工場を守るために、優勝賞金をワルダーへの借金返済にあてるのだという。予選で素晴らしい記録を出したケンだが、ワルダーの陰謀で骨折しレース出場を断念。見かねたモモはレーシングドライバーになりケンの代わりに出場。ワルダーの攻撃をかわして優勝を果たした。

脚本／佐藤茂　演出／吉田健次郎　絵コンテ／吉田健次郎　作画監督／田中保

第15話 暴走列車が止まらない 6/24放映

モモは山岳鉄道でチロルとジャックの兄弟に出会った。兄のジャックは機関士で、二人で鉄道を運営しているのだという。ジャックには、リリーという恋人がいるが、彼女の父は鉄道の乗っ取りを企んでおり、ジャックを嫌っていた。その日、リリーの父が雇ったチンピラが鉄道に爆弾を仕掛けた。モモは機関士に変身してジャックとともに汽車を昔の引き込み線へ向け難を逃れた。この事件でリリーの父も改心し、二人を許すのだった。

脚本／篝山京子　演出／山田雄三　絵コンテ／西村純二　作画監督／上條修

第16話 荒野のミンキーモモ 7/1放映

迷馬(!?)ガチョーンシンポリーとサンフランシスコへ向かうモモたちは、町でララという少女を連れた弁護士のプリンストンに出会う。ララは大金持ちのオイル氏が行方を探していた孫娘だが、もう一人の孫のジョニーに邪魔をされ、オイル氏に会いに行けないという。馬で平原を行けば見つからないのではとの話を聞いたモモは、ガンマンに変身。魔法でグルメポッポを幌馬車に変え、途中ジョニーを打ち倒し、無事にララを送り届けた。

脚本／戸田博史　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／兵頭敬

第17話 おばけ屋敷でラブアタック 7/8放映

ジョン&ケイトと一緒にドライブに行ったモモたち。たどり着いた洋館で、ケイトがドラキュラにさらわれてしまった。ジョンは再び館に入ろうとするが、主人のホラー博士に追い返されてしまう。そこで、モモはニュースキャスターになって館に入り、続発する蒸発事件が博士のしわざであることを発見する。問いつめるモモに一目ボレする博士。プロポーズを無視された博士は、巨大ロボを出動させたが、館を破壊しただけだった。

脚本／戸田博史・首藤剛志　演出・絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第18話 南の島の秘宝 7/15放映

モモの一家はババリ島で夏休み。チムルから、溺れている祖父のガガンコを助けてくれと頼まれたモモは、すぐにダイバーに変身。彼はこの島に沈む財宝を何十年も探しているという。そこでモモは彼にかわって宝探しをすることにした。悪魔島の海底洞窟に宝があることをつきとめたモモは、ワルブル一味をものともせず、ついに宝を手に入れた。フェナリナーサの王様の銅像から出てきた宝石は、どうやら王様のへそくりだったようだ。

脚本／土屋斗紀雄　演出／岡田宇敬　絵コンテ／岡田宇敬　作画監督／田中保

第19話 機械じかけのフェナリナーサ 7/22放映

12歳の天才少年ルーカスが作ったコンピューター制御の遊園地は、フェナリナーサそっくり。遊びに来たモモを見たルーカスは、恋に落ちてしまい、仕事場を離れてしまう。そこへ泥棒が入り込み遊園地のプログラミングカセットを盗み出してしまった。プログラマーに変身したモモがコンピューターにカセットを入れると、あらゆる乗物が空を飛び始める。空飛ぶ木馬でカセットを取り返したモモ。今度は18歳のモモに恋するルーカスだった。

脚本／山崎昌三　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／山田雄三　作画監督／上條修

第20話 密林の王者 7/29放映

アフリカへ行くパパのあとをこっそりついていったモモたち。仲良くなったクレタ少年の黒ヒョウが撃たれたと知り、モモは動物保護官に変身し彼らを追い払おうとした。しかし、逆に彼らは保護官のいないジャングルへ入ろうとして、クレタを脅し、道案内させるのだった。怒ったモモはターザンに変身！　密猟者は逃げ出すが、モモの雄叫びで集まった動物たちに取り囲まれ、檻の中にとび込んだ。かくてジャングルの平和は守られた。

脚本／戸田博史　演出／古沢日出夫　絵コンテ／古沢日出夫　作画監督／田中保

第21話 00モモ危機いっぱい 8/5放映

三丁目のボワロ博士にペンギンのクシャミのエキスを届けに行くと、イタリアのミラノまで来てくれと電話が入る。モモはミラノへ向かうが、博士はすでにパリへ逃れたあと。秘密情報部員00（ゼロゼロ）モモに変身し、情報部から与えられた真っ赤なスポーツカーでジュネーブへ。そこでは、ギブミーというキザな情報部員が待っていた。彼とカードを楽しむモモ。だが、その行く手には、国際犯罪組織スルメッチの魔の手が迫っていた。

脚本／土屋斗紀雄　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

◀工場長（23話）
▶女事務員
◀普通の女の子のモモ（23話）
◀ドッシー。王妃様のペット
▶通行人（23話）
▼ミラクルズメンバー（25話）
◀サキ
▶モモ
▶ベリリッチ氏。乗馬姿（24話）
▼プログラマーのモモ（9話）
◀モモの変身した魔法の女王様（24話）
▲ルーカス少年（19話）
▶マッチョロボット（19話）
◀モモのエプロン姿（24話）
◀ユニコーンのマイル（24話）
▶女ターザン（20話）
◀動物保護官のモモ
▲ジェームズギブミー。（スパイ）（21・22話）

第22話 00モモは勝利の暗号 8/12放映

スルメッチの待ち伏せを、秘密兵器のプロペラつき吸盤で切りぬけた00（ゼロゼロ）モモ＆ギブ（アレド）。だが、パリに着いたところで、ボワロ博士と三匹を人質にとられ、ついにスルメッチの手におちる二人。エキスを取り上げられたモモは、扉を爆破して博士を逃した後、ひとりスルメッチを追った。一度はエキスを取り戻したモモだが、ナンバーワンとの激しい格闘で、それをセーヌ河に落としてしまう。河はあっという間に凍りついてしまうのだった。

脚本／土屋斗紀雄　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第23話 ころがりこんだ王様 8/19放映

王妃様がペットのドッシーばかりかわいがるので、すっかりスネた王様は宮殿を飛び出し地球に落っこちてしまった。千年ぶりの地球にとまどう王様だが、このまま地球で暮らすという。なんとママにプロポーズする王様にパパはヤキモチをやき二人は大ゲンカ。なんだか王妃様が恋しくなる王様だが、帰り方がわからない。そこへ王妃様がイカロスの翼を送ってくれた。それを身につけ、王様はフェナリナーサへ戻っていった。

脚本／鷺山京子　演出／古沢日出夫　絵コンテ／古沢日出夫　作画監督／田中保

第24話 さすらいのユニコーン 8/26放映

モモは、傷ついたユニコーンのマイルを連れ帰ったが、仲間を探すマイルは逃げてしまう。マイルを見つけたモモだったが、マイルごと飛行船に乗せられてしまう。そこにはティアという雌のユニコーンが……。飛行船の持ち主ベリリッチは、ティアの仲間を捜して世界中を旅しているという。ティアからユニコーンの谷のことを聞いたモモは、魔法の女王様になって、ベリリッチを谷に導いた。そして二頭は谷へ帰ったのだった。

脚本／金春智子　演出／石田昌平　絵コンテ／石田昌平　作画監督／田中保

第25話 がんばれミラクルズ　9/2放映

野球チームに入りたいモモだが、女だからと相手にされない。そこへ現れたサキお姉さんが、ピッチャーと勝負してこてんぱんにやっつけてしまった。サキの女の子チーム、ミラクルズにキャッチャーがいないと知ったモモはさっそく野球選手に変身した。そんなミラクルズとプロ野球の優勝チーム、ドコカーズが試合をすることに。九回裏、肩に打球をうけたサキに代わり豪速球を投げるモモ。打者のバットは砕け、モモたちは勝った。

脚本／土屋斗紀雄　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／高橋正宗

第26話 妖魔が森の花嫁　9/9放映

仕事に行ったきり帰ってこないパパを迎えに、グリーンランド山脈のヒル村へとやって来たモモ。そこでは、かいぶつウラヌスに操られた伯爵が村を治めていた。大人たちは魔力で伯爵の意のままになり、村で一番美しいエリカを怪物の花嫁にしようとしている。モモは花嫁に変身し、エリカと入れかわる。モチャーたちの応援を得て、ウラヌスを倒すと、たちまち人々にかかっていた呪いが解け、パパも伯爵ももとに戻るのだった。

脚本／安斎あゆ子　演出／山田雄三　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／わたなべひろし

▶ジョニー(28話)

▼ママのヘルメット姿。

◀エリカ。怪物の花嫁に選ばれた。

▼モモ(右)とエリカの花嫁姿(26話)

▶行方不明の父を待つチャコ

▶キャプテン・ホック(27話)

▶海賊退治の船長スタイルのモモ(27話)

▶ウラヌス(26話)
妖魔が森の沼に住んでいる。

第27話 魔のトライアングル　9/16放映

魔のトライアングル、大西洋のボンミューダ島についたモモたち。そこには行方不明の父を待つチャコの姿があった。モモはチャコをつれて父親探しに出かけるが、突如現れた海賊船に大パニック。海賊退治の船長に変身するが、船はそのまま空間の切れ間へ吸い込まれていった。気がつくと王様の姿が。そう、魔のトライアングルとフェナリナーサはつながっていたのだ。チャコは父と再会でき、モモは海賊を退治して海に平和が戻った。

脚本／戸田博史　演出／岡田宇敬　絵コンテ／岡田宇敬　作画監督／田中保

第28話 激走タマゴレース　9/23放映

世界に二羽しかいないメロン鳥の卵を、あそこの動物園に届けるモモとパパ。ところが今日は、どこかの町からあそこの町までの「警察なんかクソクラエレース」の日。レース参加者と間違えられ逮捕されてしまうが、プロドライバーに変身したモモは、パパを連れ出し必死で逃げる。そのまま動物園につっこむモモたちは、卵を池へ飛ばしてしまう。それをあとから追ってきたママが見事に空中でキャッチ。卵は守られた。

脚本／土屋斗紀雄　演出／石田昌平　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／上條修

第29話 UFOがやって来た 9／30放映

フェナリナーサの空中宣伝カーが地球に来た数日後、モモはUFOを見たというトニーと知り合う。友だちに嘘つき呼ばわりされるトニーを可哀そうに思ったおじいさんは、UFOを飛ばすが墜落。姿も見られてしまう。傷つくトニー。困ったモモは宇宙人に変身してトニーに会いに行った。だが、そのときトニーは友だちが来たと外へ飛び出した。後を追ったモモはそこで巨大なUFOと遭遇する。

脚本／首藤剛志・佐藤茂　演出／大庭寿太郎
絵コンテ／大庭寿太郎　作画監督／田中保

第30話 ふるさと行きの宇宙船 10／7放映

スペースショッテルの打ち上げ見学に行ったモモたち。ところが、モチャーが実験動物と間違われてショッテルへ。女性宇宙飛行士に変身したモモは搭乗員として、おとぎ話大好きおじいさんの船長ボーマンのもとへ。そうこうするうちに大気圏を脱出したショッテルだが、メカに故障が!! モモの機転でフェナリナーサへ向かう一行。マッチ売りの少女を幸せにしたいという船長の願いも叶えられ、感激しつつ地球に還って行く一行だった。

脚本／谷本敬次　演出／山田雄三　絵コンテ／山田雄三　作画監督／上條修

第31話 よみがえった伝説 10／14放映

モモたちそっくりの石像があるホレホレ島。この島の買収を断られたスルメッチが怒って攻撃をしかけてきた。遊びにきていたモモも兵隊に変身して島のみんなと共に戦ったが、敵は潜水艦をロボットに変形させてしまった。島の運命はいかに。と、そのとき伝説の石像が光り輝き伝説の4機のメカが現れた。合体した巨大ロボットのミンキナーサは苦闘の末に、ミンキーサーベルでゴッドスルメッチを倒し、島の平和を守ったのであった。

脚本／戸田博史　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第32話 大きすぎた訪問者 10／21放映

ミス湖の怪獣ミッシーが浜にうちあげられた。怪獣はサマンサといい、息子のジミーに会いたいとモモに告げる。モモはジミーに会いに行くが、話を聞いたジミーは母を求めて飛び出してしまう。モモは考古学者になって、捕獲されたサマンサを逃がしてくれるよう研究者にたのむが聞き入れられない。一方、町に現れたジミーは戦車に囲まれていた。危機一髪のところで王様の魔法により事件は解決。ジミー一家もミス湖に帰っていった。

脚本／土屋斗紀雄　演出／川端蓮司　絵コンテ／古沢日出夫　作画監督／田中保

第33話 アンドロイドの恋 10／28放映

ライアンとナナの二人を泊めたモモとママ。ナナはアンドロイドで、彼女を解体せよとの命令にそむいて二人で逃げているのだという。翌日、指名手配されたのを知ったライアンは、故郷の北国へ向かったが、すでにそこにも警察の手が！ レスキュー隊員に変身したモモは二人の説得を試みるが、二人は谷底へ身を躍らせた。「お願い、二人をフェナリナーサへ！」モモの祈りが通じ、二人の体はゆっくりと空へ上がっていった。

脚本／戸田博史　演出／岡田宇啓　絵コンテ／木暮輝夫　作画監督／田中保

第34話 地底の国のプリンセス 11／4放映

帰らないパパを捜して地球の割れ目へ飛び込んだモモたちは、地底王国で恐竜たちを守り続けるタラッコ族の王女・レイと会った。レイの家に行くとそこには、食べると人のいいなりになる木の実を食べさせられて、彼女のパパとなった、モモのパパがいたのだ。その時、地底火山の大噴火がおきた。突貫工事の現場監督に変身したモモはレイと協力し、王国を守った。二人は友情で結ばれ、モモはパパと共にこの国を後にするのだった。

脚本／谷本敬次　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／兵頭敬

第35話 夢見るダイヤモンド 11／11放映

18歳のモモは宝石店でアルベールと知り合った。帰りぎわ、再会を約束してピンクダイヤをプレゼントするアルベール。実は、彼はピンクダイヤの産地、リヒテンブルグ王国の皇太子で、ニセダイヤを売る犯人を捜しにきていたのだ。ダイヤが本物と知って返しにきたモモの活躍で事件は解決した。だがそのダイヤには求婚の意味があると、彼の側近に聞かされるモモ。翌日、12歳の姿のまま彼に会い、モモは彼と初恋に別れを告げた。

脚本／安斎あゆ子　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第36話 大いなる遺産 11／18放映

ミイちゃんという女の子との約束が果たせないまま死んだことで、幽霊になったおじいさんが住んでいる幽霊屋敷。そこが壊されると聞いたモモは、画家に変身してミイちゃん探しをしたが見つからない。屋敷に戻ってみると取り壊しが始まっていた。婦警になって止めようとしたが逆に、土地の持ち主のおばあさんに追い回されてしまう。ところが、彼女こそがミイちゃんだったのだ。再会を果たす二人。おじいさんは無事に天に召されていった。

脚本／金春智子　演出／石田昌平　絵コンテ／野田作樹　作画監督／わたなべひろし

第37話 愛の空中ブランコ 11／25放映

パパのシャツに口紅が！　パパの相手はジュディという空中ブランコ乗りのローティーンギャル。これは一大事とセクシー美女に変身したモモは、パパとジュディの邪魔をした。ところがパパは、母を亡くした彼女を慰めてあげていただけだったのだ。昔、パパが彼女の母にそうしてもらったように……。誤解がとけたモモは、今日失敗したらサーカスをやめさせられるというジュディに協力し、空中ブランコを成功させるのだった。

脚本／筒井ともみ　演出／坂上睦　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／田中保

第38話 雪のめぐり逢い 12／2放映

10年も恋人サラの帰りを待ち続けているというアロン。彼の庭で雪遊びをしていたモモたちの前に、突然雪の妖精が現れた。彼女こそ事故で死んだサラの化身だったのだが、アロンには彼女が見えない。モモは雪の彫刻家に変身して、サラの体を作ってあげた。雪像の体を借りたサラは、アロンとつかのまの再会を果たす。

サラは消えてしまったが、アロンの心にはいつまでも彼女が生きているのだった。

脚本／土屋斗紀雄　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／上條修

第39話 突撃ミンキーママ 12／9放映

誘拐されたパパを助けようと、モモはハードボイルドの探偵に変身！　ところがその最中にママとぶつかってしまったからさあ大変。ママにも魔法がかかってしまった。私立探偵マイク・ママーの登場だ。敵地に乗り込んだのはいいけれど、ふたりともたちまち捕らわれの身。そこへ帰ってきたボスのデカイツラーは、ママを見てビックリ。なんとママはギャングの大親分の娘だったのだ。かくして事件は一件落着。ママ大活躍の巻でした。

脚本／戸田博史　演出／石田昌平　絵コンテ／野田作樹　作画監督／兵頭敬

第40話 夢の戦士 12／16放映

医者に変身したモモが、目を覚まさないママを診察すると、彼女が夢につかまっていることがわかった。そこは少女時代のママの空想の世界。猫の生まれかわりのミミアやピーターターン少年が住んでいた。ママがその世界を忘れてしまったために、ピーターターンが引き戻したのだ。モモは怪傑ミンキーゾロに変身して戦うが大苦戦。そこに突然の雨が……。ママを思うパパの涙が夢の世界に雨をふらせ、ママは現実を思い出し目を覚ました。

脚本／金春智子　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第41話 お願いサンタクロース 12／23放映

サンタはいないと言い張っていても、サンタの存在を信じ、サンタあての手紙を書くポール。サンタあての手紙の返事は郵便局員が書いていると知ったモモは、本物のサンタに会いに行くことにした。北極のサンタ工場は、人々の夢のパワーが衰えたためにすっかりさびれていたが、モモが持っていた子供たちの手紙で、たちまちピカピカ。レッドキャットに変身したモモは、サンタとともに子供たちへの贈り物を持って飛び立つのだった。

脚本／首藤剛志　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／田中保

第42話 間違いだらけの大作戦 12／30放映

自分の猫が死んだと思い込んだオスカー将軍は、「ネコが死んだ」と電話をかけた。ところがそれは緊急電話で、叫んだ言葉が敵国首都爆撃の暗号と同じだったからさあ大変。間違いに気づいた将軍が作戦中止を伝えるが、爆撃機のボトム大佐は信用しない。機にもぐりこんでパイロットに変身したモモだが、ボトムを殴ろうとして爆弾のスイッチを押してしまう。すぐさま爆弾技師になり、時限装置の解除に成功。かくして地球は救われた。

脚本／土屋斗紀雄　演出／石田昌平　絵コンテ／石田昌平　作画監督／わたなべひろし

第43話 いつか王子さまが 1／6放映

18歳の女の子になっていたモモは、アニメーターのジョニーと出会い、恋におちた。そんなある日、コンクールに出すアニメ製作に励んでいたジョニーが病気にかかってしまう。彼を助けたい一心のモモは、魔法を使うが、出来上ったフィルムはまっ白だった。そのとき、コンクールに優勝するジョニーの姿がテレビに映った。モモは自分の恋に別れを告げるために、12歳のままで公園に向かった。彼が気づかないのを承知のうえで……。

脚本／土屋斗紀雄　演出／坂上睦　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／兵頭敬

▶ボトム大佐。破壊することが趣味。

▲爆撃機。

▲ミサイル。高性能爆撃弾を載せている。

◀ジェーン。

▶看護兵。

▶女性兵士（42話）。

▲オスカー将軍。ジェーンの飼主。

▶翼をつけたパパ（44話）

▼受胎告知にきたエンジェル。

◀天使の力で翼がはえたママ。

◀ジョニー

◀フェナリナーサのハンサムボーイ。

▶モモのコート姿。

◀パパとママのコート姿。

▲サンタクロース。

▲サンタクロース姿のルビンとパパ（41話）

第44話 天使が降りてきた 1／13放映

あいかわらずアツアツのパパとママのところに、天使のエンジェル君が飛び込んできた。ところがその拍子に、彼の翼がママにくっついてしまった。モモが世界一の外科医に変身して手術をしようとすると、白鳥の格好をしたパパが現れ、ママとふたりで月夜のなかへ飛んで行ってしまった。怒ったエンジェル君が神さまに告げ口をする。神さまは現れ、翼を元に戻してくれた。エンジェル君は帰りぎわ、空にBABYの光を残していった。

脚本／谷本敬次　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／大庭寿太郎　作画監督／田中保

第45話 魔法の消えた日 1／20放映

ペンダントを追って離ればなれになったモモと三匹。悪党に狙われた三匹をピーターがかくまってくれた。モモは町でピーターと出会い、彼の家に行くが、そこでは三匹が悪党に連れ去られるところだった。モチャーがモモに投げた魔法のペンダントは銃で打ち砕かれ、ピーターも凶弾に倒れてしまう。モモの怒りは悪党の車を爆発させ、死んだピーターをも生き返らせた。こうして事件は解決したが、モモはもう変身できなくなっていた。

脚本／金春智子　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第46話 夢のフェナリナーサ 1／27放映

普通の女の子になったモモは、暴走トラックにはねられ、あっけなく帰らぬ人になってしまう。魔法でもう一度体を作ってあげるから、フェナリナーサへ戻っておいでという王様。でも、モモはパパとママの本当の子どもとして生まれかわることを望んだ。人間になったモモがおとなになっても夢や希望を失わずにいれば、フェナリナーサは地球に戻ることができる。その時を夢見ながら、赤ちゃんのモモは眠っていた。

脚本／首藤剛志　演出／湯山邦彦　絵コンテ／ゆやまくにひこ　作画監督／上條修

第49話 桃とモモの謎 2/17放映

王様はジョギングの途中で宝石を拾った。それを王冠にはめると、宝石はレーザーディスクになり、モモの映像が映し出された。画面のモモは、現実とは少し違っていた。その世界のモモがなわとびで遊んでいると、ホラ吹きのピーチボーイが来て、鬼が島の鬼退治をすると宣言した。本当に島にやってきたピーチボーイは赤鬼に逃げ出す始末。心配してついてきたモモは、スーパーウーマンや一寸法師に変身して彼らを救い出すのだった。

脚本／首藤剛志・戸田博史　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作監／飯村一夫

第50話 リンゴに御用心 2/24放映

幻のチョウに導かれ、おとぎ森へやって来たモモたち。デビルクイーンの手下につかまりそうになったとき、小人たちに助けられた。かつてクイーンは自分以外の美しいものを滅ぼそうと、彼らのアイドルをガケからつき落としていたのだ。モモは白雪ちゃんに変身して、彼らとともに打倒クイーンに立ち上がった。シワの元が入った巨大リンゴを誤って食べてしまったクイーンは、おバアさんになって逃げ出し、森に平和が戻った。

脚本／筒井ともみ　演出／湯山邦彦　絵コンテ／ゆやまくにひこ　作監／わたなべひろし

▶カジラ。モモの新しい仲間(49話〜)

▼ハルカナシティ行き列車。(45話)

◀ピーター。夢を追いつづけている男。

▼デビルクイーンの城。

◀デビルクイーン。(50話)

▶悪者。(45話)

▼モモのクラスメート。(46話)

▶モモのパジャマ姿。

▶モモの担任の先生(46話)

▶オモチャの車で遊んでた子供。(46話)

第51話 ラストアクション 3/3放映

モモたちは映画スターのジョン・ウェイトと知り合い、撮影所に連れて行ってもらった。偶然迷い込んだ地下室でローソクの炎に囲まれた老婆と出会うモモ。老婆は、ローソクの長さが人の命の長さだといい、ジョンの命もあとわずかだという。ジョンの映画も、あとは車と飛行機の連携アクションを残すのみ。足をケガしたパイロットのかわりに、モモが飛行機専用のスタントマンに変身して撮影終了。しかし、ジョンはもういない……。

脚本／土屋斗紀雄　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／兵頭敬

第52話 モチャーとペンギン 3/10放映

子供を亡くしたママペンギンに会いに行ったモモ。すると、ママペンギンがモチャーを自分の子供と間違えて寄ってきた。かくしてモチャーはペンギンに変装させられママペンギンのもとへ。ところが、モチャーが誘拐されてしまった。モモは探偵に変身し、無事にモチャーを救出した。だが、モチャーの変装がバレてしまいママペンギンは再び悲しみにくれる。そこへ、ハンサムな中年ペンギンが現れ、愛の力で悲しみをいやすのだった。

脚本／谷本敬次　演出／石田昌平　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／田中保

第53話 お花畑を走る汽車 3/17放映

お花畑の中を走る汽車を見たモモ。翌日も同じ場所へ行ったが、線路さえも見あたらない。そこへセシリアという老婦人が現れた。彼女は恋人のマークと駆け落ちを決意したものの、約束の汽車には乗らなかったのだという。その夜、ふたりの前に再び汽車が現れ、モモは駅員になり、セシリアとともに乗りこんだ。そこにはマークの姿が…。朝のお花畑で目を覚ましたモモは彼女の家に行き、そこで年老いたマークとセシリアたちを見た。

脚本／金春智子　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第54話 飛べアルバトロス号 3/24放映

ヘブン島のはやり病いを直すため、さっそく出かけたモモは、リトル島でも同じ病いがはやっていると知る。リトル島への道を阻まれ、モモはジェットパイロットに変身した。だが、ジェット機では島に着陸できない。オンボロの複葉機を見つけたモモたちは、持ち主のドランコじいさんの操縦でリトル島へ向かった。機体を軽くするため陸上選手になり協力するモモ。なんとか、動物たちのところへたどりつくことができたのだった。

脚本／土屋斗紀雄　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／上條修

第55話 愛・アップルでもう一度 3/31放映

あのデビルクィーンが町中の人を無料招待してリンゴパーティーを開くという。モモが行ってみるとだれもいない。彼女の手下だった青ヒゲたちが妨害したのだ。彼女を暖かくむかえるモモの家族に感動したクィーンは翌朝、公園の掃除をする。だが再び青ヒゲたちにぬれぎぬをきせられ、町を出て行くことに。モモは白雪ちゃんに変身し、彼女の作ったリンゴを配った。まちまち大評判になり、彼女はリンゴ栽培を始めるのだった。

脚本／筒井ともみ　演出／湯山邦彦　絵コンテ／ゆやまくにひこ　作監／わたなべひろし

▲若い頃のマークとセシリア（53話）

▲60年の年月を越えて結ばれたセシリア。

▼オーウェン。スパイの一員。

●シベール。のどかな村に住む超能力少女。（56話）

◀ゼナ。シベールをむかえにきた超能力者。

●ブラックキャット。モモの変身（56話）

▼のどかな村の老人。（56話）

▶老人がつれていたロバ。

第56話 木もれ陽の少女 4/7放映

超能力を持っているため人々から恐れられ孤独な生活を送っていたシベール。モモの使う魔法を見て、彼女は理解者が現れたと喜んだ。そんな頃、シベールを追い出そうと村人たちがやってくるが、近くの別荘に住むオーウェンが、ふたりを守ってくれた。だが、彼は彼女の力を利用しようと考えるスパイだったのだ。ブラックキャットに変身するモモだが、黒い霧で魔法が効かない。危機一髪を、超能力者のレイとゼナに救出されたふたりだった。

脚本／金春智子　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／大庭寿太郎　作画監督／田中保

第57話 人力飛行機ラプソディー 4/14放映

モモが1週間だけ管理人をすることになったアパートには発明家のリチャード・ドレッシングが住んでいた。彼の夢は今度の人力飛行機大会で優勝すること。モモたちの全面協力で試験飛行に成功したものの、警察に追いかけられ飛行機は水びたしになってしまった。徹夜で翼を直したが、今度はリチャードが熱を出してしまう。モモはプロの競輪選手になり、アパートの屋上から人力飛行機で会場へかけつけ、見事優勝するのだった。

脚本／谷本敬次　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第58話 ペテン師のノクターン 4/21放映

コンサートがあると聞いてジムのポスター貼りを手伝うモモたち。だがそれは真っ赤なウソで、券を買わされた町の人々はカンカン。モモたちもサギ師の一味だと思われ、人々に追い回される。婦人警官に変身しジムを追うモモ。彼がサギをした理由は、お世話になった神父さまの誕生日にピアノを贈りたかったからだと知ったモモは、ジムと神父を再会させる。そしてモモは彼のかわりにピアニストになり、コンサートを開くのだった。

脚本／安斎あゆ子　演出／簑ノ口克己　絵コンテ／大関雅幸　作監／須田正己・田中保

第59話 ある街角の伝説 4/28放映

どこかの町のあそこの公園で、モモは妖精を信じる少女フェアリーと出会った。ふたりはモモの魔法で小さくなり妖精に会いに出かける。多くの妖精たちは黒雲の力で地下に閉じこめられているという。彼らを救うためには、春夏秋冬の4人の妖精が育てた花の花粉をあびた、子供たちの呼び声が必要なのだ。モモはグルメポッポで花粉をまき、その子供たちの呼び声で、妖精たちはよみがえった。そして、町に花を咲かせていくのだった。

脚本／土屋斗紀雄・首藤剛志　演出／大庭寿太郎　絵コンテ／日下部光雄　作監／田中保

第60話 時は愛のゆりかご 5/5放映

パパが昔ママに贈ったオルゴールを聞くうち、10数年前に飛んだモモたち。パパとママはすでにアツアツ。だが、ママを連れ戻そうとギャングが現れた。モモはママに似た女の子に変身し、おとりになってふたりを逃がそうとしたが、ママの父であるカポカポネに見破られてしまう。カポネにふたりの結婚を邪魔させ、モモを地球から追い出すのが悪夢の黒雲の陰謀だった。しかし、ふたりの愛のパワーは強く、パパはママに結婚を誓う。

脚本／金春智子　演出／箕ノ口克己　絵コンテ／やまだゆうぞう　作画監督／田中保

第61話 愛・アップルよ永遠に 5/12放映

デビルおばさんのおとぎ園でとれたリンゴを売りに行くモモとおばさん。だが、途中でリンゴに黒い雲が入りこみ。町でのリンゴの評判は最悪。みたび白雪ちゃんに変身するモモだが、そこへ黒雲が現れて三匹を連れ去ってしまう。ふたりはトラックで追跡し三匹を救出したが、おとぎ園は焼け野原にされてしまった。たたずむモモたちの前に、地面から苗木を守ったおばさんが現れた。おばさんの不屈の精神は黒雲の陰謀に勝ったのだ。

脚本／筒井ともみ　演出／湯山邦彦　絵コンテ／ゆやまくにひこ　作監／わたなべひろし

◀戦士シンドブック。

▶戦いの女神姿のピピル。

▼巨大化したカジラ。

◀15年前のパパ（60話）

▲パワードスーツ姿のモチャー。（63話）

◀夢の戦士。モモの変身（63話）

◀デビルクィーン。バスローブ姿（55話）

▶冬の妖精。

●フェアリー。妖精を信じる少女（59話）

▲夏の妖精。▲春の妖精。▲冬の妖精。▲秋の妖精。

第62話 しのびよる影 5/19放映

動物たちが悪夢にとりつかれモモたちを襲った。ドアを壊して飛びこんでくる動物たちからモモを守ろうとしたパパとママは、石になってしまった。さらに、超能力でモモを救いに来たシベールも、フェアリーやデビルおばさんも石にされた。打ちひしがれるモモの心に、悪夢の声が聞こえる。モモが地球にいる限り、回りの人間はモモのかわりに悪夢を見、そして傷つき倒れると。モモは三匹やカジラとも別れ、ひとり旅立っていくのだった。

脚本／土屋斗紀雄　演出／日下部光雄　絵コンテ／日下部光雄　作画監督／飯村一夫

第63話 さよならは言わないで 5/26放映

悪夢にホレホレ島へと連れて行かれたモモは、そこが夢をあきらめた人々が集まる島だと知った。絶望するモモの前にカジラが現れた。カジラはモモに夢を見せてもらった人たちが、モモの死を悲しんで流した涙でできているのだ。そのことに勇気づけられたモモは、夢の戦士に変身し、三匹とカジラとともに悪夢と戦った。モモたちのエネルギーは悪夢の強大な力を打ち破った。そして、眠る赤ん坊のモモに、すこやかな笑顔が戻ってきた。

脚本／首藤剛志　演出／湯山邦彦　絵コンテ／ゆやまくにひこ　作画監督／上條修

メインスタッフリスト

企画	佐藤俊彦
プロデューサー	大野 実（読広）　加藤 博　梅原 勝
原案・構成	首藤剛志
総監督	湯山邦彦
音楽	高田ひろし
美術監督	新井寅雄
音響監督	藤山房延
録音製作	ザックプロモーション
撮影監督	福田岳志
キャラクターデザイン	芦田豊雄　みさきのあ　服部あゆみ
色彩設定	永江由利
録音	成清 豊
効果	加藤昭二
制作管理	佐藤訓史　古林明子
製作	読売広告社　葦プロダクション

芦田豊雄「ミンキーモモ」を語る。

●芦田豊雄氏による旧作「モモ」の準備稿。いままでにないキャラクターをと、試行錯誤したあとがうかがえる。右下は、18歳になった時の看護婦さん。

芦田豊雄　4月21日生れ
前作の「モモ」からキャラデザインで関わっている。現在「タカマル2」を製作中。

前作の「魔法のプリンセス　ミンキーモモ」に、キャラクターデザインというかたちで参加したのですが、「ミンキーモモ」というと、〝芦田豊雄〟といわれるんだけれども、作画監督もやっていないんですよ、前作も今回も。

最初、「魔法のプリンセス　ミンキーモモ2」をやるという企画は、前からあがっていたんです。そこで、早いところOKをもらいたかったんです。回りもいそがしく時間も無かったので……。

で、ライブの方でキャラクターを描いたのです。それと、とみながまりを作画の中心にしようというプロデュースですね。とみながを作画の中心にすれば、時代というものを当然反映してくるだろうという計算を基にしましたから。10年前とスタッフは、いっしょですからね。アニメーションというのは、その時代を映す鏡みたいなものですから、その時代を反映しないとこまるわけですよ。

前作のモモは、小山まみさんの声質もあって、けっこう、かわいらしい、情感をもったキャラになっていたんですが、今日のモモの方が、性格はドライですね。絵もドライだけど、それは、時代の流れでしょうね。意図的に、「再放送」に見えてはいけない、とは考えました。昔のモモを知ってる人はイメージが違うと思うでしょうね。

今回、キャラクターの絵的な性格づけは申し訳ないんですがしていないんです。実は、前のモモの時もしていないんです。ラフは、けっこう描いたのですがもめていて、モモもいろんな人のキャラクターがでていたんです。モモ以外のキャラクターは、スポンサーさんの目の前で、全部描いていったんです。王様や三匹は、一時間位でできてしまったキャラクターで、その場でいいじゃないかと決まったのです。いつも疑問に思うのは、決定権を持つ人と作家の接点が無いんです。間にいろんな人が入ってしまって、一日で決まることが一週間もかかってしまうことがあるんです。ですから、今回も早いところ仕事として完成したかったんです。

デザインは、王様、王妃様、パパとママ、三匹のお供を私が描きました。でも、あの三匹は私のキャラクターじゃないんです。ゲームソフト会社の「バンプレスト」からきたキャラクターを、私が仕上げたんです。

キャラクターデザインで、旧作と関わっているのは、わたなべひろしだけなんです。なぜ、彼にミンキーモモを描いてもらったかというと、私が描いてもモモじゃないと言われるし、おそらくとみながまりが描いてもちがうと言われるだろう。言ってしまえば彼は、あまり絵がかわっていないんです。そんな彼でもやはり10年前と同じ絵は、描けなかったんです。

私としては、10年前の絵なんてかるく描けると思ったんですよ。別の人間が描いたキャラクターだと思えばいいわけですよ。ですからかるく描けると思ったら描けなかった。それで分かったんですが、昔の自分の絵ほどやなものは無いですね。これは、ものを作る人に共通なのかもしれないけれど、他人の昔の絵は許せても自分の絵は許せない。自分のひと昔前の絵を見てすばらしいと思ったら終わりだと思いますよ。

旧作は、母親が娘と見るには5年はやかったですね。あの当時は、アニメーションのネタがなかったですからね。でも、すごく画期的なアニメーションだったことはたしかですし、そんな作品に関わることができたというのはとても光栄に思います。

Princess of Marinenarsa
MINKY MOMO
as a lady

ここからは、ふたたびマリンナーサのモモの写真集です。
地上に夢と希望をよみがえらせるため、モモは魔法で18歳のレディーに変身します。
ただのレディーではありません。
ありとあらゆる職業のプロフェッショナルに変身できるのです。
看護婦さん、ピアニスト、婦警さん、ときにはマジシャンや怪盗、お姫さまにだって……
夢いっぱいのモモの変身をお楽しみください。

Ⓐサンダーロボ。魔法で巨大化した無敵のヒーローロボ。
Ⓑ悪役ロボを倒してあげるために、さっそうと登場。
Ⓒロボット・パイロットに変身したモモ。
Ⓓサンダーロボのコクピット。
Ⓔプロポーション１等賞の変身です。
（すべて＃33より）

Ⓐ
Ⓑ
Ⓒ

Ⓐ忍者に変身したモモ（♯15）
Ⓑ珍獣フクロネコを守るために女ターザンに変身（♯３）
Ⓒエイリアン２の雰囲気で、女コマンドーに変身（♯23）
Ⓓ看護婦さん（♯20）
Ⓔ（♯20）
Ⓕ（♯20）
Ⓖ（♯20）

Ⓐまぼろしの怪盗ウグイスパンに変身したモモ（#29）
Ⓑけっこう悪ノリしちゃうモモ(#29)
Ⓒ御存知、怪盗レッドキャット。さっそうと登場(#11)
Ⓓ（#11）
Ⓔ（#11）

Ⓒ

Ⓓ

Ⓔ

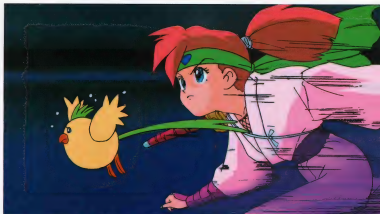
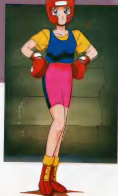
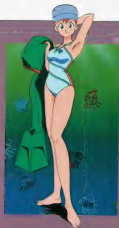
Ⓐ GO! GO! チアガール!(#22)
Ⓑ プロのスイマー……けど、足ヒレがまるで人魚(#42)
Ⓒ ボクシング代表スパーリング・パートナー(#31)
Ⓓ プロゴルファー(#18)
Ⓔ ピアニスト。「いとしのマージカ」をひくモモ(#７)
Ⓕ 再び登場、ピアニスト(#31)

Ⓑ

Ⓐ火炎放射器部隊員。氷の女アイリーンが登場するたびに、対決する（＃34）
Ⓑ警察犬の調教師（＃35）
Ⓒマリンナーサ行き地下鉄の運転手（＃２）
Ⓓ婦人警官（＃32）

Ⓕ

Ⓘ

Ⓔホテルのコックさん。腕は超一流（＃31）
Ⓕ消防士（＃21）
Ⓖ白バイ警官（＃32）
Ⓗ爆弾処理の特殊隊員（＃16）
Ⓘ（＃16）

Ⓐ（＃31）
Ⓑレンタルビデオショップの店員さん。かわいいぞ（＃９）
Ⓒ女ガンマン。ドッジシティーの悪を大そうじ（＃23）
Ⓓメカドクター。ロボット修理の専門家（＃27）
Ⓔ女性ジャーナリスト。特ダネはおまかせ（＃21）
Ⓕマラソンランナー（＃16）
Ⓖそのままおとなになっちゃったモモ（＃36）
Ⓗ女勇者。ゲーム世界に入って勇者を助けちゃう（＃６）
Ⓘ（＃24）

新しいミンキーモモのイメージイラストのひとつ。はつらつとした感じ。

MINKY PROJECT

ここで紹介するのは、今回の「ミンキーモモ」の企画書です。どの様なコンセプトで「ミンキーモモ」が誕生したのかを見てください。本編には登場しなかった色々な道具も載せてみました。「ミンキーモモ」のエッセンスを感じとってね。

〈物語の始まり〉

むかしむかし……

地球は夢と希望がいっぱいでした。ですから、人々のまわりには、誰にでも行ける夢と希望の国が一杯ありました。ところが、人々が、夢と希望をなくしてしまうと、いろいろあった夢の国も、しだいに地球を離れていってしまったのです。それを残念に思った、それぞれの夢の国の王様は、夢の国を地球に戻したいと思いました。

王家の広間にある、太陽系の模型の9つの星につけられた宝石に光が点れば、夢の国は地球に戻ります。そのためには、王家の血を引くものが、地上の誰かに夢と希望を持たせることができたら、その4回ごとに1個ずつ光が点り、夢の国はもとの地球に戻れるのです。過去、何回にもわたって、色々な夢の国が、地球に夢の国を戻そうと、王家の血筋のものを地球に送り込みました。

でも、うまくいきませんでした。

ほんのちょっとだけ昔も、フェナリナーサという夢の国の少女が……（ミンキーモモという名前だったそうです）、地球に行ったのですが、目的を果たせませんでした。人間という生き物を愛しすぎたそのミンキーモモという少女は、夢の国の少女でいることをやめて、本当の人間になってしまったのです。そして、今、地球のどこかで、人間としての、夢と希望を実現させようと頑張って生きているはずです。

（88ページへつづく）

イメージイラストの別パターン。変身用ステッキ等の小道具に注意。

〈はじめに〉

大人になったら、どんな仕事をしたいの？
そんなことを聞いてみたら、子供達は山ほど夢を語ってくれました。
そして一言………
「どうせ実現しっこないけどね」
そうでしょうか？
少なくともミンキーモモは違います。
ステッキをふれば、幼い少女が一瞬のうちにプロフェッショナル・ヤングギャルに………子供達の将来の夢をまのあたりに見せてくれるのです。

これが、約10年前の前作「ミンキーモモ」のコンセプトです。少女がプロフェッショナルギャルになる、というコンセプトは、子供達の心をつかんで大ヒットしました。このコンセプトは実は少女ものにおいては、いつの時代も変わらない、普遍的なコンセプトなのです。それは、前作「ミンキーモモ」が、再放送においても高い視聴率を取っているということでおわかりになると思います。「ミンキーモモ2」においても、このコンセプトは踏襲します。

では、一作目との違いは何でしょう。
それは、モモのキャラクターです。昔のモモは、使命感をもって街にやって来ました。今度のモモは、あまり使命感を意識していません。つまり、遊びたい盛りの、興味しんしん少女なのです。遊びたい盛りの元気少女が、街の中に飛び込んで来て、元気はつらつ飛び回ります。むしろ、お供の動物たちの方が、モモの天真爛漫さにやきもきするくらいです。そして、街の色々な人々と出会い、少女は少しずつ成長して行くのです。

そんな、気楽な少女が今風な女の子であると、私たちは結論しました。

これが、一番前作のイメージに近いイラスト。お供の３匹が描いてあるのもこれだけ。

そのミンキーモモが、伝説となった世界。

いろいろあった夢の国が地球から遠ざかってしまったなかで、ただ一つだけ地球に残った夢の国があったのです。その国の名は「マリンナーサ」。海の底深くに沈んでいたのです。けれど、「マリンナーサ」も、他の夢の国と同じように、人々が夢と希望をとりもどさないかぎり、海の中から浮上することができないのでした。

そして、「マリンナーサ」にも、夢の国を地球に戻す役目をおおせつかる順番がやって来ました。あいにく、「マリンナーサ」にも、王家の血をひくものは、少女しかいませんでした。マリンナーサの王様と王妃様も、地上に大事な娘をやりたくありません。

けれど少女は、好奇心しんしん新少女……。「わたし、行きたい／行きます／　行けば行く／　駄目でもともと…行ってみなけりゃわからない」

少女は、伝説にちなんで、ミンキーモモの名前を受け継ぎ、地上へ行くことになりました。

二代目ミンキーモモの誕生です。
お供は………(左へつづく)

小鳥のルピピ　　　おしゃまで……
お猿のチャーモ　　　あわてもので……
老犬のクックブック　　　怠けもので……

どうも、役に立ちそうにない お供です。

さて、地上での舞台は……

やはり、どこかの国のどこかの町。そのまん中にある、セントラルパーク……、そのまたまん中に、ナショナルネイチャートラストが所有する、18世紀の造りの宿屋「レジェンド・イン」があります。ナショナルネチャートラストとは、自然や、昔の建物をそのままの形で残しておこうとする団体で、そこの管理をする代わりに家賃をただにしてもらっている夫婦がいました。もちろん、昔のままが条件ですから、昔のように、旅人を安い値段で、しかも普風のもてなしで泊めてあげます。でも、公園を一歩出ると、超高級ホテルがすらりと並ぶ大都会です。薄汚れた宿屋に泊まるのは……よっぽどの物好きです。

この夫婦……こんなところに住んでいるだけに、やはり物好きな変わり者です。夫は、その筋では結構名の知れた考古学者。あっちの遺跡、こっちの密林、そっちの砂漠と、世界中を忙しく飛び回っています。いつも出掛けてる夫の代わりに、宿屋を切り盛りしている妻は、暇を見つけては（もっとも満室になることなどないのだが……）売れない推理小説を書くのが趣味。時々趣味がこうじて探偵の真似事などをはじめたりする。

さて、この二人には、あいにく子供がいませんでした。宿屋に仕事に趣味と、忙しかったからです。

でも、今日からは違います。

いつのまにか、12歳の女の子が、二人の子供として、住みついてしまったのです。夫婦は、その女の子を、自分たちの子だと信じて疑わなかったし、まわりの人々も、そう思い込んでいました。

夢の国マリンナーサの、ささやかな魔法がそうさせたのです。そして、ミンキーモモの使える魔法もささやかなものでした。18歳の大人になること、それも、様々な職業のプロフェッショナルに……。

これが、夢を失った地上で、ミンキーモモが使える精一杯の魔法でした。

魔法の道具もあります。空を飛ぶこともできる、魔法のスケボー。マリンナーサとつながっている、転送された絵が、本物になる不思議なＦＡＸ。

けれど、一番の武器は、ミンキーモモ自身の好奇心いっぱいの行動力。

宿屋に泊まる奇妙な人々も、ミンキーモモの冒険に様々な色をそえます。二代目ミンキーモモは、はたして、今まで誰も果たせなかった、夢の国の、地球への帰還を成し遂げることができるでしょうか？

いつかきっとでなく……
今がその時。です／

マジカルパラソル。虹の階段を発生する。

ミンキーステッキ。呪文を唱えてステッキをふると変身する。

グルメポッポ改。世界中を旅することができる。

ペンダント。マジカルステッキが収納され、占いにも使用。

ブレスレット。魔法の国や、お供の動物との連絡用レシーバー。

赤のオルゴール。幸せをふりまくと宝石が１個光ります。

ポシェット。いつもモモがさげている。

青の化粧バック。モモが、おでかけのときに持ち歩きます。

企画書の表紙。タイトルが「ミンキーモモ２」だった。

魔法のスケートボード。活発、元気少女のモモの移動道具

魔法のファックス。転送された絵が本物になる。

コンパクト。悩みを告げると進む道を教える。

監督・湯山邦彦インタビュー

10年間で世の中変わりましたね

ゆやまくにひこ●'52年10月15日東京都生まれ。'78年葦プロに入社。'82年「ミンキーモモ」で初のCDに。現在はフリーとして活躍中。

——旧作のモモと比べて、新作のモモは性格が軽いようにも思うんですが。

湯山 そうですね。

——それは、なぜなんですか。

湯山 でも旧作のモモも最初は軽かったですよ。始めは使命感もなくて。シリーズで夢とか希望とかのテーマを描いていくうちに、だんだんキャラクターが肉付けされて重くなっていったんです。

今回のモモは旧作モモとは、まったく別人ですよね。だから旧作同様、最初は軽く設定してキャラの自然な変化にまかせようと。はなから旧作みたいな重さを設定しちゃうと、キャラクター的につらいんですよ。モモってあくまでも12才の子供なんですからね。

——新作での夢とか希望とかいう重いテーマを描くのは、そうしたテーマにキャラが負けないほど確立してからということですか。

湯山 そうですね。それも重いテーマでキャラを無理に変えて行くというより、自然な流れの中でということですよね。

——その結果新作モモは、軽いままになってしまっているという…。

湯山 キャラ的にはそうですよね。話自体はシリアスな話もあるんですけど。

——そうした違いは、どこから生じてきたんでしょう。

湯山 現実の方がもっとハードなんですよ。モモ一人ではどうしようもない事ばかりなんで、そうした事態に飲み込まれちゃうとキャラがつぶれちゃうから、逆にそれを吹っ切らないと、動けないんです。

——やっぱり今回のモモを演出されるにあたって、今の時代背景ってとても影響していると思うんですけど。

湯山 そうですね。モモって作品自体が日常をベースにした物語じゃないですよね。例えば学校へ行くというシーンは無い。モモ自身が、どこかへ行って事件にぶつかっちゃう。それで、やっていて気がついたんですけど作品自体がある程度社会性を帯びてくるんですよ。そうすると現実の様々な問題に直面せざるを得ないんです。その辺の重さって意識しない所でシリーズに反映しちゃってると思います。

——軽いキャラに重いテーマって描きづらくありませんでしたか。

湯山 それは首藤剛志さんのやり方なんですよ。まあ自然な流れの中で後半モモはテーマの重さに耐えられるようになってきたし、いいかなと思います。

キャラクターデザイン・とみながまりインタビュー

設定は細めの線で描いてるんです。

とみながまり●'65年3月18日生まれ。「銀河漂流バイファム」を見てライブに入社。「モモ」では作監、キャラデザインを務める。

私が、「ミンキーモモ」に入ったのは制作直前で、18歳のモモをデザインしたのは1話の打ち合せのあとだったんです。もとになるモモはありましたから、それほど苦労はなかったです。18歳のモモって体の線が細いんです。でも、そのわりには胸が大きいんですよ。最初は、面長だった顔を少しまるくして等身を下げたんです。下描きの方が少しむっちりしていたと思います。湯山監督からは、髪の毛のバリエーションをふやしてくれといわれた位です。それでなるべく同じ髪型にしないようにしました。服装は、けっこう自分の好みが出てしまってると思います。なるべく肌を出さない様にしてるのは、イロ気を押し出してもしょうがないと思うからなんです。フリルとかリボンとかをあまりつけないのは、12歳のモモの服が簡単なものなのに急にかえてしまうのは「モモ」らしくないと思って……やはり世界観を気にしてるからなんでしょうね。ですから、ゲストキャラクターの方が、こった服を着てたりするんです。

私がゲストキャラクターを作る時には、沈まぬように浮かないようにというのを注意して何度も絵コンテを読んで、どんな声で話すのかまで考えて描いているのでけっこう時間がかかるんです。設定はいろんな人が見るものだから、きれいに描かなくてはと思って細めに描いているんです。原画や作監の線は太いといわれるんですけどね。

モモっていう子は、そばにいたら好きにならないかもしれない。でも子供って、へんにいい子じゃない方がいいと思うんです。今回のモモは、目の前をまっすぐ見るような子にしたいと思ってたんです。湯山監督や首藤さんもそういう所を出してくれて、みんなが思ってる事は同じなんだと思いました。モモには、いいことをするにも悪いことをするにも、前を見ててほしいです。

「ミンキーモモ」という作品は、良い意味でも、悪い意味でも私の代表作になってしまうんだろうなという気持ちはあります。モモ個人というよりは、モモを囲んでいる人たちが好きで、昔のモモと後半になって分けられることができたし、そのへんで別のファンもついてくれたと思います。私は、私に与えられたもので、せいいっぱい表現してみました。

マリンナーサの ミンキーモモ 設定 全話ストーリーガイド付き

ここでは、マリンナーサのモモの設定をお楽しみ下さい。番組中ではあまり気づかなかった微妙な表情も、キチンと設定されているんですね。

'91.10／2〜'92.12／23放映

◀18才モモの水着姿。スタイル良いね

18才モモ

ほとんど変化無しの変身後。違いと言えばストーリー上、かならずしも変身して職業のエキスパートになることが無かったところか。

▶ショートカットモモ

◀後ろ姿もなかなか決まっているぞ

◀モモのロングヘアーバージョンも良い

▶18才モモのさまざまに変わる表情は魅力たっぷりだ

▶モモといえばこういう表情はお馴染み

▼髪の毛の質感もほんわか描かれている

▲ちょっとおすましの内股座りモモ

◀茶目っ気タップリにデザインされた新モモ

ミンキーモモ

これが新作用にデザインされたモモ。デザインは前作でもおなじみのわたなべひろしさん。前作が持っていたポワッとした感じを大切にしたという。

◀前作とは髪飾り、靴の部分が違うのだ

クックブックとチャーモとルピピ

前作同様モモのお供として地上にやってきた3匹。ご意見番のクックブック。男友達のチャーモ、女友達のルピピという感じだ

▲▶クックブックはモモの良きアドバイザー

▲ちょっとしたしぐさがオヤジっぽい

▶▼モモの遊び仲間といった感じのチャーモ

▶女の子でもあるルピピはモモの良き理解者

マリンナーサのパパとママ

マリンナーサの王様と王妃様は前作とほとんど同じ容姿だ。ここの王様はフェナリナーサの王様とは同級生なのである。

◀あいかわらずお茶目で多芸の王様だ

▲現在は海底深くに没しているマリンナーサ

▶髪型が前作の王妃よりパワーアップしている

▶シリーズ前半で舞台となったレジェンドイン

▼そして後半の舞台であるノコッタイン

モモのパパとママ

いつも家庭に明るさをもたらす地上でのモモのパパとママ。とっても愛し合っている。子供を持つことが夢だったのだ

▶考古学者のパパ。実は偉い人なのである

◀推理作家志望のママ。でも原稿はボツばかり

◀前作[illegible]のモモ用カー[illegible]ポッポ改

◀いきなりクックブックがクックターボに

モモの小道具パート2

#38〜#62

▶新しくなったウォッチ

▲力をストックすると宝石が光る

▶マリンナーサ用直通電話がかけられる

▶いろいろ映すドレッサー

▶モモの新しくなったペンダント

▲これが新ミンキーステッキだ

モモの小道具

#1〜#37

◀ミンキーステッキ。これで大人に変身する

◀モモの宝石箱。魔法の力をストックする

▶モモのドレッサー。いろんな物を写す鏡

▲モモウォッチ。チャーモ型のウォッチだ

第1話 ハロー、ミンキーモモ 10／2放映

昔々、地球に夢と希望があった頃、人々の回りには誰にでも行ける夢と希望の国がいっぱいにあった。でも今となっては最後の夢の国フェナリナーサでさえ地球を離れてしまったという始末。しか～し、フェナリナーサよりのんびりしている夢の国が海の底に残っていたのだ。その国の名はマリンナーサ。地球に再び夢を！　1444年に一度の星雲直列の日、マリンナーサのプリンセス・ミンキーモモが3匹のお供を連れて地上を目差す！

脚本／首藤剛志　絵コンテ／湯山邦彦　演出／加戸誉夫　作監／わたなべひろし

第2話 公園のともだち 10／9放映

妖精を見たことがない妖精ハンターのランドルがレジェンドインにやって来た。彼のもった妖精探知機が、モモに会おうと忍び込んでいた妖精フェをするどくキャッチ。騒ぐランドルよりいち早くフェに出会えたモモは、公園でフェと彼の仲間の妖精たちから、妖精と人間の悲しい別れの話を聞いた。そんな所にランドルが大勢の人間を連れてやって来たから大変。モモは公園の地下に眠る電車に妖精たちを乗せて運転手に変身した！

脚本／首藤剛志　絵コンテ／湯山邦彦　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第3話 アニマル大作戦 10／16放映

セントラルパークに絶滅したはずの赤道フクロネコのアレキサンドラが迷い込む。いち早く発見したモモによって介抱されたアレキサンドラ。だが翌日アニマル商会と名乗る連中がレジェンド・インに乗り込み、アレキサンドラはアニマル商会の物と連れ去る。なんとかアレキサンドラを開放してあげたいとアニマル商会に忍び込むモモ。見つかり追い詰められるが、モモはターザンに変身。動物たちを呼び寄せてアニマル商会を撃退する。

脚本／浜田金広　絵コンテ／箕ノ口克己　演出／野館誠一　作監／堀内修

第4話 ここ掘れ、恐竜！ 10／23放映

ある夜パパとママの友人・ドラゴンスキーが恐竜の化石を掘ったと見せにきた。化石により全てを捨てたドラゴンスキーは大喜び。だがパパの調べで化石は恐竜ではなくトカゲであることが判明。ドラゴンスキーが掘り返した地層は、恐竜絶滅以後のものなのだ。ガクッと気を落とすドラゴンスキー。だがドラゴンスキーの夢を信じるモモは魔法を使って確認。やはりその土地に恐竜はいた。ドラゴンスキーはついに恐竜の化石と出会うのだ。

脚本／佐藤茂　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／橋本啓史

第5話 おかしなおかしなお菓子の国 10／30放映

世界で大人気のタポポスキャンディーの原産国、スポポタ国にママがさらわれてしまった！　ママを追ってモモがスポポタに着くと、大統領ゲルダーによって裁判が始められるところだった。ママは、キャンディーの隠された秘密を知ってしまったと思われて有罪に。と、その時、裁判場にレオンをはじめとする子供たちがのりこんできた。ママと、キャンディーを国に取り上げられたレオンたちを救うために、モモはゲルダーの城で大あばれ。

脚本／滝沢一穂　絵コンテ／上妻晋作　演出／阿部雅司　作監／とみながまり

第6話 勇者が消えた!? 11／6放映

テレビゲームの主人公勇者リトが突然ゲームの中から消えてしまった。モモたちは謎を解くためにゲームの中に入り込む。さっそく王様に会いにいったモモたちは、王様からリトが北の洞窟に入っていくのを見たと教えられる。なんとリトはやる気をなくして洞窟の中にうずくまっていたのだ。そこに現われたのが魔王ゾーン。ゾーンはルピサ姫をも手の内に捕まえている。モモはおびえるリトにかわって勇者に変身、ゾーンに戦いを挑んだ！

脚本／花園由宇保　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／佐藤敬一

▲キントト号コンバットバージョン（1話）

◀コンバットモモ（1話）

◀スチュワーデスモモ（1話）

◀モモは女性ニュースキャスターに変身（5話）

◀スポポタ国大統領ゲルダーだ（5話）

▼大人気のタポポスキャンディー（5話）

◀モモはカッコイイ忍者に変身（5話）

▶アニマル商会の社長だ（3話）

▼絶滅したはずの赤道フクロネコ（3話）

▶動物を守る女ターザンモモ（3話）

▶大西部で活[illegible]

▶レロイ（9話）

▼エリリンボーズの18才モモ（9話）

▶プロゴルファーモモ（8話）

◀ハンターのランドル（3話）

▶モモは車掌さんに（2話）

妖精フェ（2話）◀

▶ゴルフ場のモグラ（8話）

第7話 雪の中のコンサート 11/20放映

ピアノの巨匠スコタビッチは悩んでいた。コンサートで演奏する曲「愛しのマーシカ」が思うように弾けないのだ。マーシカはスタコビッチの最初の恋人で、つい最近「天国からこの曲がききたいわ」という最期の言葉とともに、その死の知らせがスコタビッチに届いていた。事情を聞いたモモは天才ピアニストに変身。モモが弾く「愛しのマーシカ」を聞いて、スコタビッチは愛するマーシカの思い出を取り戻すことができたのだった。

脚本／菊地有起　絵コンテ／芝崎素子　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第8話 モグラとうまくやるゴルフ 11/27放映

伝統のゴルフコース・セントピーターセンは存亡の危機を迎えていた。大金持ちのワルダーがコースを買い取って、好き勝手に改造しようとしているのだ。コースを影で支えてきたモグラたちもこのままではワルダーに殺されてしまう。町の人々はゴルフでワルダーと決着をつけようとするが、ワルダーの連れてきたプロにかなう選手がいない！　モモは木陰で女子プロに変身、モグラたちの協力もあって、みごとに勝負に勝ったのだった。

脚本／佐藤茂　絵コンテ／野舘誠一　演出／野舘誠一　作監／堀内修

▲プリンセスモモ（10話）

▲売れっ子作家ジャネット（10話）

◀ルビサ姫を捕らえた魔王ゾーン（6話）

◀捕らわれのルビサ姫（6話）

▶かわいい看護婦モモだ（4話）

◀巨匠のスコタビッチ（7話）

◀ピアニストモモ（7話）

▲ドラゴンスキー（4話）

◀マーシカ（7話）

▲モモも勇者に変身する（6話）

▲勇者リト（6話）

◀恐竜モモだ（4話）

第9話 ビデオでレンタル、太平原 12/4放映

大西部で女の子ジェーンが活躍するビデオドラマに夢中のモモ。今日もビデオ店に向かったが、そこで、ひとりの男の子レロイと新作の取り合いになってしまう。ジェーンみたいな女の子を紹介するというとんでもない約束と引き換えに、レロイからビデオを借りたモモは、約束を守るためにビデオからジェーンを現実の世界に呼び出したのだった。一緒に飛び出た馬泥棒たちと大活劇を始めるジェーン。モモとレロイも加わって街は大騒ぎに。

脚本／武上純希　絵コンテ／工藤柾輝　演出／阿部雅司　作画／橋本敬史

第10話 眠らせて お願い！ 12/11放映

原稿取りの編集者に追われるベストセラー作家のジャネットが、レジェンドインに駆け込んできた。「お願い眠らせて！」ジャネットの頼みを聞いたモモは、群がる編集者たちを撃退するが、敵もなかなかしぶとい。追い詰められたモモは、寝ぼけまなこのジャネットを連れて部屋を脱出する。これは夢だと信じているジャネットの前で次から次へと変身を繰り返すモモ。夜の街で、編集者たちとの仁義なきドタバタおいかけっこが始まった！

脚本／浜田金広・首藤剛志　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／梶浦紳一郎

第11話 サンタが空からふってきた 12/18放映

クリスマス・イブの日、赤い国と青い国の間で、永久平和条約が結ばれた。ストレンジラブ博士が作ったコンピューターが双方に配置されたからだ。それは敵に対してすぐ反応し反撃、その力は地球をブッ飛ばしてしまえるほどなのだ。その日プレゼントを配りにやってきた大勢のサンタ。だが赤い国と青い国のコンピューターは敵と勘違いし攻撃してしまう。だがモモが気がつき、魔法とサンタたちの協力で無事に危機を回避したのだった。

脚本／首藤剛志　絵コンテ／三浦辰夫　演出／三浦辰夫　作監／とみながまり

第12話 凍らせないで！ 1/8放映

宇宙生物研究所から水性ETウォータームーンが逃げだした。水をつたってどこへでもいけるウォータームーンは、やがてモモの部屋にたどり付く。海の国マリンナーサから来たモモはウォータームーンと息がバッチリ。そこに宇宙生物研究所の追っ手アイリーンが登場、なんでも凍らせる冷凍銃を持ってモモたちにせまってきた。モモはアイリーンと、デパートで、森で、激しい攻防戦を繰り広げ、必死でウォータームーンを守ろうとするが……。

脚本／菊地有起　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／佐藤敬一

第13話 雪のお城の戦士たち 1/15放映

公園で雪のお城を作っている3人の男の子、コージ、タカシ、ジロー。3人はそれぞれの教育ママから逃げ出して雪のお城に家出するつもりでいた。コージたちの姿を見つけたモモもお城作りに参加する。一方ママたちは、子供がいなくなったと大騒ぎ。警察を引き連れて公園にやって来る。口々に勝手なことを叫ぶママたち。ちょっぴり怒ったモモはロビンフッドに変身、コージたちとともに警察にハチャメチャな雪合戦を仕掛けたのだった。

脚本／花園由宇保　絵コンテ／芝崎素子　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第14話 昔々のモーニングコール 1/22放映

ある朝、ママはスケジュール帳を見てびっくり。代々レジェンドインの管理人に伝えられてきた開かずの地下室に眠るお客を起こす日が今日だったのだ。地下室にいたのは大昔のお姫様ライム。313年間の眠りの呪いをかけられた王子グレンのために自らも魔法で長い眠りについていたのだ。街のどこかにグレンが眠っている。ライムとモモは古い地図を頼りにグレンの居場所をつきとめるが、なんとそこは動物園のライオンの檻の下だった！

脚本／金春智子　絵コンテ／野舘誠一　演出／野舘誠一　作監／堀内修

第15話 ニンジャ出現！ 忍びのモモ 1/29放映

レジェンドインにやってきた東洋の女の子あかねは修行中の忍者。修練に精を出すが、なかなかうまくいかないのだった。その姿が街のドンで日本趣味のカフェオーレに見初められたから大変。あかねはカフェオーレの屋敷に連れ去られてしまう。モモは忍者に変身してカフェオーレの屋敷に忍び込むが、あと少しのところで大ピンチに。その時、あかねの怒りが爆発！ 忍術の奥義で雷を呼び、カフェオーレの屋敷をふっとばした！

脚本／戸田博史　絵コンテ／上妻晋作　演出／阿部雅司　作監／梶浦紳一郎

第16話 シンデレラ パニック 2/5放映

街でどこぞの国の王子の歓迎パーティが開かれることになった。パーティに招待されてないモモは宮殿に潜り込み、そこでわがまま王子のレオンに出会う。モモを一目で気に入ったレオンは執事ウィルヘルムとともに家庭教師になれとしつこく追い回す始末。なんとか逃げきったモモは暗殺者たちの内緒話を立ち聞きしてしまう。クルーザーに時限爆弾が！ モモは暗殺者から助けてくれた兄、王子ラインハルトとともにクルーザーに急いだ。

脚本／湯山邦彦　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／橋本敬史

▶水状ETウォータームーン (12話)

◀火炎放射器装備のモモ (12話)

◀子供を連れにきた警官 (13話)

◀ロビンフッドに変身したモモ (13話)

▼プリンセスに変身のモモ (16話)

◀爆弾処理隊員に変身したモモ (16話)

▶少しおすましポーズのモモ (16話)

◀王子レオン (16話)

▶ギャングスタイルのモモ (14話)

◀猛獣使いスタイルのモモ (14話)

◀レオタードスタイルのモモ (18話)

▶カフェオーレ (15話)

▶侍姿に変身のモモ (15話)

▲忍者のあかね (15話)

◀アーティストモモ (17話)

◀優勝者レオナード (17話)

◀ジムは準優勝 (17話)

▶レッドキャットに変身のモモ (11話)

▲天才ストレンジラブ博士 (11話)

▼おとぼけサンタクロースさん (11話)

第17話 トライアングル フェスティバル 2/12放映

雪の芸術祭の日がせまっている。モモは公園の一番いい場所を取ろうと猛ダッシュするが、同じ場所を取ろうとしていたレオナードとジムに正面衝突、言い争いになってしまう。レオナードは去年の優勝、ジムは準優勝チームの一員。すごい相手に囲まれたモモは彼らの造るナイト像、ペガサス像に対抗して女神ビーナス像を造るが、この三者は実は伝説においての三角関係。モモたちの目の前でナイト像とペガサス像がけんかを始めだしたのだ！

脚本／滝花幸代　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／佐藤敬一

第18話 買物へ行こう 2/19放送

ママから買い物を頼まれたモモは、街で二人組の売れない俳優に撮影所までの道を尋ねられ、彼らの車に乗り込んで道案内をするはめになってしまった。この二人組がちょうど脱走中の誘拐犯人とそっくりだったことから、それを見ていたおばさんが、おおあわてで警察に通報してしまう。一方、誘拐犯人たちはスーパーを襲おうと店内をうろうろ。そこに撮影所で戦車に乗り換えたモモたちが、ドアを破って飛び込んできたから大騒ぎ！

脚本／花園由宇保　絵コンテ／工藤柾輝　演出／三浦辰夫　作監／とみながまり

第19話 魔女の魔法はそろばんずく 2/26放送

街にやってきた短気な美少女の手品師ブレンダは、本物の魔女だった。おばあさんとカラスのジョーの三人で手品をしながら、世界のどこかにいるはずの仲間を探す旅の途中なのだ。魔女の宴会を始める儀式ができれば仲間が集まるかもしれない。おばあさんから話を聞いたモモは、無関心なブレンダをよそに儀式の準備を手伝う。しかしいよいよ儀式を始める時、ブレンダもモモたちに加わって呪文を大合唱。はたして魔女はやってくるのか？

脚本／面出明美　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第20話 看護婦さんは大忙し 3/4放映

はしごから落ちたパパを助けてくれたのは、看護婦のマリー。パパが入院することになった病院で、モモは、マリーとなかよしのスケボー少年ジョンと知り合う。看護婦の仕事ぶりに感激したモモは自分も看護婦に変身、マリーと一緒に働くが、仕事はとてもハード。急患におわれてジョンに薬を飲ませるのを忘れてしまう。容態が突然悪くなるジョン。必死で付き添うマリー。モモは二人のためにいちかバチかの魔法に力をふりしぼるのだった。

脚本／滝花幸代　絵コンテ／加戸誉夫　演出／野舘誠一　作監／堀内修

第21話 フォーカス？ 見られた変身 3/11放映

交通事故を見たいために、新聞記者に変身して現場に近づいていったモモは、ドジな若手記者アベルと知り合う。記者根性に欠けるアベルは、ライバル社のスッパートにバカにされてばかり。同情したモモはもう一度記者に変身、スッパートに特ダネ勝負を挑む。アベルはモモと行動するが失敗の連続。最初の特ダネもスッパートに取られてしまう。しかし大火事に出くわしたとき、アベルはカメラを捨てて果敢に火の中に飛び込んだのだ！

脚本／面出明美　絵コンテ／三浦辰夫　演出／三浦辰夫　作監／とみながまり

第22話 GO！GO！チアガール 3/18放映

ビルの地下工事現場に出た遺跡を調査していたパパが呪いにかかってしまった。原因究明に乗り出したモモは地下でたくさんのハニワに囲まれる。工事がうるさくて眠れない、人間に仕返ししてやると、ものすごい顔で怒るハニワ。困ったモモはパパのトラノマキからヒントを得る。踊りでハニワの関心を引きつけて説得すればいい！　モモはチアガールに変身。三匹とともに懸命のダンス。すると、ハニワも怒りの表情を変えて……

脚本／北条千夏　絵コンテ／工藤柾輝　演出／加戸誉夫　作監／橋本敬史

▶相棒のジョー（19話）

▶魔女に変身のモモ（19話）

▶気の強い魔女ブレンダ（19話）

▶スケボーの上手 護婦マリー（20話）

▶ドジな若手記者アベル（21話）

▶ライバルのスッパート（21話）

▶野次馬根性から記者に変身したモモ（21話）

▶大火事に挑む消防士モモ（21話）

ボー仲間の少年 ン（20話）

▶モモはチアガールに変身（22話）

▲地下で眠るハニワたち（22話）

◀怒りの大魔神復活（22話）

▲花屋に変身したモモ（22話）

◀設定ならではのサービスカット（22話）

第23話 ドッチシティーの決闘 3/25放映

西部の町のセットが広場に造られた。さっそくピクニックに出かけたモモは古いピストルを拾い、それがきっかけで本物の西部の町ドッチシティーにタイムスリップ。悪者クラントン一味と戦うはめになってしまう。モモに協力するのは、かつてクラントンに兄を殺された少年ボニーと、ハンバーガー屋の老人ジャック。クラントン一味に対し、次から次へと違う姿のガンマンに変身して戦うモモ！かくて町の平和は守られたのであった。

脚本／坂田俊二　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／下笠美穂

第24話 夢見る花束 4/1放映

花屋の女の子フローラ。彼女は伝説の里の住人で、世界に散らばった7つの百年草を集める使命をもっていたのだ。7つの花が一斉に咲く百年に一度のチャンスを逃せば里に帰れない。ところが香水屋のポプリコットに7つ目の百年草を奪われてしまった。同じ夢の国の住人のためにモモはポプリコットから百年草を奪回。ポプリコットもあきらめず、モモとフローラはついに追いつめられてしまう。その時、7つの百年草が一斉に咲きだした。

脚本／志茂文彦　絵コンテ／阿部雅司　演出／阿部雅司　作監／梶浦紳一郎

第25話 あぶない結婚記念日 4/8放映

気球で街にやってきたロバートは、かつて結婚式場でママに迫ったとんでもない男。そんなロバートとママが楽しそうに気球に乗りこんだから、モモは気が気でない。しかもパパはパパで若い女の子ミリィと街を歩いて、ウエディングドレスを見たりしている。結婚記念日にして夫婦最大の危機！　モモはママとパパの行動に右往左往の大パニック。なんとか4人が鉢合わせしないように駆け回るが、本当はロバートとミリィは恋人同士で……

脚本／藤岡美暢　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第26話 踊る大ウサギ 4/15放映

うさぎのぬいぐるみを着た手品師アーネスは、街の子供たちの人気者だが、いつも怒り顔の女の子セシルだけは苦手のよう。実はアーネスとセシルは兄弟で、しかも一国の王子と王女だった。ふがいないアーネスのせいで見合い結婚を迫られているセシルだが、本当はアーネスを愛し、心配している。アーネスが子供たちを招くパーティの前日、セシルはとうとう国に帰る決心をする。それを聞いたアーネスは、セシルを懸命に追いかけたが。

脚本／面出明美　絵コンテ／野銘誠一　演出／藤本義孝　作監／堀内修

第27話 笑ってチェリードール 4/22放映

街に新しいおもちゃ屋チェリー・トイが開店した。店の前には、この街では珍しいマスコット人形が置かれ、お客が通るたびあいさつすることになっていたが、どうしたことか全然動かない。その夜、モモは人形と話をする夢を見る。ひとりで遠くにきて心細い……、人形の切ない声が忘れられないモモはふたたびチェリー・トイへ。店ではちょうど人形が廃棄処分になり運ばれていくところだった。懸命に止めるモモ、その時人形が動きだして。

脚本／志茂文彦　絵コンテ／小林哲也　演出／加戸誉夫　作監／とみながまり

第28話 サバイバルでいこう！ 4/29放映

無人島漂流の本を読んで、サバイバルにあこがれるモモは、レジエンドインの湖に浮かぶ小島に、一泊二日のキャンプをすることを思いつく。一度は反対したママもキャンプの道具をそろえてくれて、小島でのモモと3匹のテント生活が始まった。しかしテントをたてるのも、バーベキューするのもぎこちないモモたち。そのたびにパパやママがこっそりやってきて、影ながらのフォロー。こうして脳天気なモモのサバイバルは続くのだった。

脚本／滝花幸代　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／梶浦紳一郎

▶ガンマンに変身のモモ（23話）

◀ロバートの恋人ミリィ（25話）

▶探偵に変身のモモ（25話）

▲酒場で踊る踊り子モモ（23話）

◀悪役クラントン一味（23話）

▶コックさんに変身だ（28話）

◀とってもきれいなパパとママ。懐かしの結婚式だ（25話）

▲アーネスと妹のセシル（26話）

◀スーパーレディモモに変身（30話）

▶ママ思いのメアリ（30話）

▲香水屋のポプリコット（24話）

▶モモは宅配ピザ屋に変身（24話）

▶花屋の女の子フローラ（24話）

第29話 怪盗ウグイスパンを追え！ 5／6放映

市長の誕生パーティーの日、「天使の壺」が盗まれた。パーティー会場で事件を知ったママとデストラーデ警部が探偵役に立候補。さっそく捜査を始めたが成果が上がらない。市長の態度に思うところがあったモモは単独行動。家の裏庭に壺を埋めようとしている市長を見つけた。実は市長が壺を壊してしまったのだが、奥さんが怖くて事件をデッチ上げたのだった。市長に同情したモモは、怪盗に変身。なにやら行動を開始したが……

脚本／花園田宇保　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／下笠美穂

第30話 魔女になりたい 5／13放映

ブレンダが大変だという知らせを受けて、モモはさっそく会いに出かけた。魔法のステッキが盗まれたと泣くブレンダ。犯人は6歳の女の子メアリだった。家を飛び出したママを、魔法で探したかったのだ。メアリの願いを聞いて、ブレンダは魔法をコーチ。一方モモは婦人警官に変身してママの行方を探した。汽車に乗ろうとしているママを発見したモモは、ブレンダに連絡。ブレンダとメアリは魔法のほうきに乗ってママのもとへ急いだ。

脚本／面出明美　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第31話 モモのホテルは星いくつ!? 5／20放映

モモがひとりで留守番している時、世界一のホテル評論家モーガン・ミシュランが、レジェンドインにお忍びで泊まる、という知らせが届いた。その日の客は5人。気難しい老人サイモン、デビッドとマリーの夫婦、正体不明の女の子メグ、ボクサーのジョー。それぞれ怪しくて、本当は誰がミシュランなのか、モモたちには見当がつかない。そんな時タイミング悪く、刑事に化けた謎の3人組が乱入してきて、レジェンドインは大混乱に。

脚本／武上純希　絵コンテ／小林哲也　演出／阿部雅司　作監／梶浦紳一郎

第32話 スーパーマント登場！ 5／27放映

今日は、街一番の大会社の社長さんが、スーパーマントごっこをする「スーパーマントの日」。偽の悪者がレジェンドインを襲って、あとからスーパーマントが現れる筋書きになっていた。事情を知らないモモは、悪者を見てお巡りさんに変身。その時、部屋に飛び込んできた社長さんとぶつかり合ってしまう。そこから話は意外な方向に。モモの魔法のパワーが社長さんにも移り、なんと本物のスーパーマントになってしまったのだ！

脚本／金巻兼一・首藤剛志　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／とみながまり

第33話 発進!ミンキーロボ 6/3放映

モモは、パパの友達クロードのいるテレビ局の地下倉庫で、出番を与えられず20年間も木箱の中にしまわれていた悪役ロボット、ゴーダンを解放する。さっそく対決すべきヒーローロボ・サンダーを探すゴーダン。しかし大昔のヒーローであるサンダーは、とうにいない。モモはサンダーの産みの親ドレア氏に会い、もう一度サンダーを甦らせてもらう。念願の対決を果したゴーダンはサンダーの必殺技で、満足そうにやられていくのだった。

脚本/面出明美　絵コンテ/加戸誉夫　演出/加戸誉夫　作監/つるやまおさむ

第34話 いたずら妖精パニック 6/10放映

パパが博物館から借りてきた古代の壺。その中には魔法の召使いゴブリンが入っているという。その日レジェンドインには奇妙な客がやってきた。冷凍魔のアイリーンと、妖精ハンターのランドルだ。ゴブリンの存在をどこからか嗅ぎつけ、自分の手で捕まえようとするふたり。一方モモはホテルの仕事を手伝わせるためにゴブリンを解き放ってしまう。いたずらなゴブリンと、アイリーン、ランドルの大暴れでレジェンドインはボロボロに。

脚本/菊地有起　絵コンテ/藤本義孝/演出/秦泉寺博　作監/三島利佳

◀ロボット・パイロットのモモ

▶ヒーローロボ・サンダー（33話）

▶解放された悪役ロボット・ゴーダン（33話）

◀王様もロボットになる？

▼新聞売りのボブ（35話）

◀新聞の売り子になるモモ（35話）

◀交通整理のお巡りさん（35話）

◀ノコッタインの

第35話 いつもどこかで 6/17放映

公園の新聞売りボブと新聞社の社長ロバートは、顔を合わすとケンカばかりの仲の悪い親子。そんなふたりを見て自分の行く末を悩む孫のマイケルは、双子の小犬の片方をボブのスタンドの前に捨てたりして、どうにか仲直りのきっかけを作ろうとする。それでもケンカばかりのふたりに呆れたマイケルは家出を決意、モモもそれを手伝う。ボブとロバートはいがみ合いつつもマイケルを探し、最後はマイケルの前で仲直りを誓うのだった。

脚本/佐藤茂　絵コンテ/佐山聖子　演出/藤本義孝　作監/堀内修

第36話 レジェンドイン最後の日 6/24放映

ある朝突然4つの国の軍隊がレジェンドパークに乗り込んできた。モモたちの国はなくなり、レジェンドインが4つの国の国境になるというのだ。その夜、いも虫のピラーに呼ばれたモモは、レジェンドパークに住む動物たちや妖精フェがいっせいに公園を出ていこうとしているのを知る。悲しむモモにさよならの言葉を伝えるレジェンドイン。夢の土地がまたひとつなくなって、これからモモたちはどうなってしまうのだろうか?

脚本/首藤剛志　絵コンテ/工藤柾輝　演出/加戸誉夫　作監/つるやまおさむ

▲イモ虫のピラー（36話）

▶大人になったモモ（36話）

▶優しいスターライト（38話）

第37話 どうなるどうするミンキーモモ 7/1放映

マリンナーサからあそこの街にやってきて、さまざまな人に出会い、ハチャメチャな冒険を繰り返し、多くの人に夢と希望を与えてきたミンキーモモ。しかしもはや、モモのパワーのもとになっていた夢の土地レジェンドパークもなくなってしまった。夢と希望がなくなった地球はこの先どうなるのか?　どうするどうなるミンキーモモ。まあ、なるようになるダバ、とモモは笑う。パパもママも元気だし、さあ、次の冒険が始まろうとしている!

脚本/首藤剛志　絵コンテ/工藤柾輝　演出/阿部雅司　作監/小森高博

▼魔法の召使いゴブリン（34話）

◀仕事を手伝うモモ（34話）

▶古代の壺にゴブリンが（34話）

▶再び現れたランドル（34話）

第38話 ようこそニューハウス 7/8放映

ノコッタインにモモたちは移ってきたが、ここにはオバケが出るという噂がある。行ってみるとトビーという少年が出てきて、モモを追い返す。怒ったモモは、ノコッタインに忍び込むが優しいスターライトという男に見つかる。実は彼らはオバケで、トビーはノコッタパークを荒らす人間を許せず、父のスターライトに隠れて脅かしていたのだ。だが、モモのパパとママを知ったトビーは信用できる人もいることを知り消えていった。

脚本/面出明美　絵コンテ/加戸誉夫　演出/加戸誉夫　作監/梶浦紳一郎

▼実は悪い子願望のある少女ラミ（41話）

▲悪い子の国の門番（41話）

▼ラミのママ（41話）

▶不良姿のモモ（41話）

▶▼悪い子の国のボス。実はただのモグラだった（41話）

▶今では海中に没している人魚の国の人（42話）

▶とある国の王子（42話）

◀夢の国では売れっ子作家のママ（43話）

▼武装している三匹（43話）

▶過激派のようなモモ（43話）

◀ハテナマン（43話）

◀なんだかみじめなバックン（43話）

▼バレバレのバックン（43話）

▶何でも凍らせるアイリーン（44話）

▶石を守る一族の娘リリト（44話）

▶みんなドラキュラのとってもお仲良しホラー友達だ（40話）

第39話 モモとモモ　7／15放映

どうやったら地上に夢を呼び戻せるのか、生まれ変わったフェナリナーサのモモに聞くためモモはロンドンへやってきた。モモと対面するモモ。だが初代モモは魔法を信じてないみたいだ。それを確かめようとした時、モモは初代モモの歌を聞く。初代モモは夢を魔法ではなく、自分の力でかなえようとしているのだ。そんな夢もあることを知ったモモは、とにかく使える魔法はガンガン使って地上に夢を呼び戻そうと新たに決意する。

脚本／首藤剛志　絵コンテ／湯山邦彦　演出／藤本義孝　作監／とみながまり

第40話 もんもんモンスター　7／22放映

今日は年に1度のホラーカーニバル。街はモンスターに変装した人で大にぎわい。楽しい雰囲気にそわそわのモモとママ。そこへドラキュラが現れた。変装かと思ったら実は本物。眠りから目覚めた彼は仲間を探すが、街にはニセモノばかり。ダメかと思った時、かつての親友、狼男、フランケン、ミイラ男と再会する。だが喜んでばかりもいられない。これからどうするかと思案する彼らにモモは移動ホラーハウスをやることを提案した。

脚本／北条千夏・首藤剛志　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／三島利佳

第41話 悪い子の国で大冒険　7／29放映

ある日ノコッタインで、ラミという少女を1日預かることになった。普段はママを心配させない良い子のラミだが、実は悪い子願望があった。そんなラミはモモの魔法で悪い事の許される国へいく。だがその国への入口の水溜まりを盗まれ、街のボスへ献上されてしまう。それを知ったモモ達は取り返しに行くが返してくれない。だがボスの正体がモグラであることを知った2人はボスを脅して水溜まりを取戻し、無事現実へ帰ってきた。

脚本／桶谷顕　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／林委千夫

第42話 ナイショの海の人魚伝説　8／5放映

海へ遊びに来たモモ。借りたヨットで沖へでたモモは、人魚に変身スイミング。ところが警備艇に捕らえられる。とある国の王子が幼い日に出会った人魚を探していて間違えたのだ。人魚の世界はすでにマリンナーサと同じ運命にあったが、年に一度人間界への道が出来るという。マリンナーサから連絡を受けた人魚は道へ向かう。だが大きな難破船で道が塞がっている。どうしても人魚に会いたい王子は難破船をどけ、二人は再会する。

脚本／桶谷顕　絵コンテ／阿部雅司　演出／阿部雅司　作監／つるやまおさむ

第43話 夢の中から…SOS　8／12放映

小説家志望のママは、出版社からの不合格通知に落ち込み、眠り病になってしまった。ママを助けようとモモは、夢のスペシャリスト・バクのバックンと一緒に夢の中へ入る。そこではママは大推理小説家で、モモやパパをかえりみない。許せないとモモは、ママの夢を壊す。これは悪夢と叫ぶママの言葉でバックンは夢を食べてしまう。放心するママだが愛するモモとパパに気がついて、ようやく長い悪夢から目覚めるのだった。

脚本／北条千夏　絵コンテ／工藤柾輝　演出／秦泉寺博　作監／堀澤聡志

第44話 北の国の伝説　8／19放映

どこかの国立アカデミーに呼ばれたパパ。モモも後からついていく。アカデミーのゴーウェルは、謎の石を誰かに調査してほしいという。だが昔から石を守ってきた一族の少女リリトによって石は盗まれる。村へにげたリリトと追手のゴーウェルが争うなか、石から巨大な木が生え村を破壊する。そんな石をリリトは嫌うが石の音に悪意を感じないモモは、魔法でその木の夢を村人に見せた。リリトは夢見る木と再び生きていく決心をする。

脚本／菊地有起　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／堀内修

第45話 天才になろう！ 8／26放映

考古学者のパパにマリンダとクリスの親子が会いにやってきた。パパの仕事に感激したというマリンダは、ぜひシュリンポスの遺跡から発見した指輪を見たいという。その指輪は5つあり、全て身につけると天才になるという伝説がある。マリンダはクリスを天才にするため指輪を狙っている怪盗だった。5つの指輪で天才になったクリスは世界征服を宣言するが、モモの魔法によって無事に解決し、クリスはもとの素直な少年に戻った。

脚本／小西川博・首藤剛志　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／とみながまり

第46話 間違いだらけの神様 9／2放映

マリンナーサの宝があるという伝説を持つ双子島にモモがやってきた。〝あっちの島〟と〝こっちの島〟からなるここは、いま争いの真っ最中だった。原因は掘り出された2つの石像だ。どちらを真の神とするかで争っているのだ。島の少年ニモの案内で石像を見たモモは、それが自分にそっくりでびっくり。実はそれは幼い頃のマリンナーサ王妃が作った物だった。石像が自分に似ている事を利用してモモは、ふたつの島を和解させた。

脚本／土屋斗紀雄　絵コンテ／佐山聖子　演出／藤本義孝　作監／三島利佳

第47話 ニンジンを我らに！ 9／9放映

ノコッタインでは、ママがニンジンが無いと大騒ぎ。近頃はニンジン畑を続ける人がいないのだ。モモはウサギにニンジン畑をまかせればよいと考え、ウサギに近づきそうもちかける。ウサギのグレー、ホワイト、ブチは賛成しもう誰も使わなくなった畑を耕し始めるだが畑を更地にするためのブルドーザーがやってきた。畑を守るためウサギは戦うがブルドーザーに勝てずその畑を離れた。でもウサギ達は他の地でニンジン畑を続けていた。

脚本／桶谷顕　絵コンテ／工藤柾輝　演出／秦泉寺博　作監／林委千夫

第48話 赤ちゃんがほしい!? 9／16放映

世界から夢がなくなる前に赤ちゃんを育てたいというチェリーは9才の女の子。ポピット家ではチェリーに相応しいお婿さんを大募集。チェリーを好きな友人のクリフも、モモに応援されて応募する。そしてお婿さん選びのレースが開始された。レースはハンサムで金持ちのカイルが卑怯な手で勝つ。クリフを気にしながらもカイルと婚約しようとするチエリー。だが、クリフがモモに後押しされついにチエリーに告白。そして2人は…♡

脚本／面出明美　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／堀澤聡志

第49話 魔女っ子スターウォーズ!? 9／23放映

ブレンダの招待で魔女たちに会いに行くモモ。しかし夢のない世界で魔女の魔法はめっきり弱くなっている。人に魔女を信じさせればとブレンダとモモは放送局に行くが誰も信じてくれない。強行手段と2人は放送衛星をジャック。そこには夢見るボーマン船長がいた。船長の協力で魔法番組を放送するが、衛生ジャック事件に宇宙基地からボトム大佐が発進。だが魔法で撃退。モモたちの活躍に魔女たちも再びやる気になるのだった。

脚本／面出明美　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／つるやまおさむ

第50話 しあわせワッショイ 9／30放映

街のほとんどの人が、なぜか〝夢見る共同組合〟に入っていく。パパやママもノコッタインを訪れた男、ドリームマンによって、入ってしまった。どうやらTVの人気番組を利用して街の人を洗脳したらしい。みんなが同じ夢を見るなんて変とモモは猛反発。集会に現れた教祖様に主張するが…。頑固な教祖様にちょっと魔法を使うモモ。やはり夢は1人で見るのが本当と知った教祖様。でも懲りずにみんなで見る夢を探して旅に出るのだ。

脚本／北条千夏・首藤剛志　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／とみながまり

▶ボーマン船長（49話）

▲ボトム大佐（49話）

▲かつては怪盗だったマリンダ（45話）

▶天才になった少年クリス（45話）

◀いつもゆかいな王様（53話）

▶ストーンさん（53話）

▶友人のレイ（53話）

▶ストーンのキャラ・ルー（53話）

◀気弱なクリフ（48話）

◀おませなチェリー（48話）

▶畑を守るホワイト（47話）

▶畑を守り戦うグレー（47話）

▲ボーイズに変身のモモ（48話）

▶フェナリナーサの王妃（46話）

◀幼い日の王妃

▲組合の教祖様。王様に似ている（50話）

◀女神に変身し

▶組合の勧誘員ドリームマン（50話）

第51話 ばたばたバタフライ！ 10／7放映

ある朝ノコッタ・イン目掛けて飛行機が激突した。蝶のように飛びたいと願う青年ロイドの飛行機バタフライトだ。モモもその夢には賛成するが、バタフライトは…。その時モモの頭に絶滅寸前のホロピノアゲハが語りかけてきた。失敗の続くロイドはヤケをおこし高い崖からバタフライトで飛び下りる。と蝶の群れが彼を助け、もうすぐ滅びる私達の飛び方をロイドに残してほしいと願う。ついにロイドはバタフライトでの飛行に成功する。

脚本／藤岡美暢・首藤剛志　絵コンテ／阿部雅司　演出／阿部雅司　作監／石川健朝

第52話 出動！おたすけ隊 10／14放映

謎の救助組織、国際お助け隊。その日モモは、爆音の聞こえた外を見ると国際お助け隊の救援メカがいた。どうも近くが秘密基地らしく隊長のマリア、ジョー、ミッキーとモモはお友達になる。普段は全く普通の生活をしている3人は趣味で救助隊の活動をしているという。そしてお助け隊志望のモモは、入隊を認められる。事件発生！　燃料が足りないが、天才ミッキーは省エネタイプのメカを開発していた。さあお助け6号で出撃だ！

脚本／遠野秋彦　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／三島利佳

第53話 走れ夢列車 10／21放映

アニメーターのストーンは自分の描いた少女キャラのルーが活躍するアニメが出来ることを夢みる。だが他のアニメの仕事が忙しくてそれどころじゃない。そんなある日街でルーに似たモモをみつける。が、直後に倒れて入院。とても危険な状態だ。ストーンは夢の中でルーを探している。ルーに会わせてあげるとモモは代役を努めようとする……だが、そこへ本当のルーが現れる。ルーはストーンさんと一緒に白い光に包まれていった。

脚本／首藤剛志・石田昌久　絵コンテ・演出・作監／わたなべひろし

第54話 海賊トパーズの宝物 10／28放映

パパは古物市で半分になった海賊トパーズの宝地図を買った。だがその夜ノコッタインに海賊船が現れて、地図を盗んでしまう。また阻止しようとしたモモもとらわれる。船長のルビーは実はトパーズの娘で、跡継ぎの証・虹の剣を女を理由に譲られなかったことを恨み、死後四百年以上も探し続けているという。ついに財宝を見つけルビーは虹の剣を手に入れる。実はルビーに跡継ぎの資格があるかどうか、トパーズによるテストだったのだ。

脚本／金春智子　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／林委千夫

※53話の演出は、'92.10／21現在での予定です。

第55話　悪夢のお願い　11／4放映

ある日モモは少女が語りかけてくる夢を見た。次の日パパが、設立1500年というノコッタ美術館に謎の扉があることがわかり、調査に向かう。後からモモも行くと、夢の少女が頭に語りかけてきた。それは、〝悪夢の像〟という像の少女だった。彼女は悪夢のプリンセス・シャドー。閉じ込められた地下から助けてとモモにいう。だが悪夢をみせられてはとためらうモモ。夢の無い今、悪夢でもあったほうがマシとシャドーは言うが…。

脚本／北条千夏　絵コンテ／加戸誉夫　演出／加戸誉夫　作監／とみながまり

第56話　オールスター！歌のアルバム　11／11放映

今日はスペシャルショーが行われる特別な日。すでに会場には司会のモモと3匹を始めとして、ブレンダ&ジョー、アイリーンにランドル、ボーマン船長やボトム大佐などといったメンバーが詰め掛けている。だが、肝心なモモのパパやママ、マリンナーサの王様と王妃の姿が見えない。どうも遅刻のようだ。とにかくショーは開幕。ところがモモの司会を見兼ねたシャドーが突然乱入し、変わって司会しだす。はたしてショーの行方は？

脚本／北条千夏　絵コンテ／阿部雅司　演出／阿部雅司　作監／とみながまり

第57話　冷たくしないで　11／18放映

ノコッタインに、ブレンダがやって来た。パーティーの招待状を貰ったのでモモも一緒にと誘いにきたのだ。御馳走が出ると聞いてモモはニコニコ。だがそれはアイリーンとランドルがモモとブレンダを捕らえるために仕掛けたワナ。あわてて逃げるふたりはアイリーンの研究所に迷い込む。そこでは巨大な宇宙船があり、その傍らには沢山の動物がとらわれている檻があった。いったいアイリーンは何をしようとしているのだろうか？

脚本／首藤剛志・面出明美　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／つるやまおさむ

▶悪夢のプリンセス・シャドー（55話）

▲フィットしたコスチュームがグー（55話）

▶モモに復活させてもらおうとする（55話）

◀後ろ姿もなかなかセクシーなシャドー（55話）

▼フェレスの孫のロック（58話）

▲うるさい捕らわれカラス（57話）

▼方舟計画を熱心に推進する長官（57話）

▼アイリーン研究所の方舟（57話）

◀映画の中のお姫様（58話）

◀映画に出た妖精（58話）

◀映画館のフェレス爺さん（58話）

◀ホラウッド映画の社長（59話）

◀PDウォルターズデニック（59話）

第58話　ふしぎなふしぎな映画館　11／25放映

ノコッタ映画館のフェレス爺さんに、映画の招待状を貰ったモモはさっそくやってくる。フェレスによると客入りの悪さから明日でこの映画館は閉館。ここには新しくビルが建つそうだ。勿体ないと肩を落とすモモ。そこへフェレスの孫のロックが、〝映画館は続けるって約束したじゃないか〟とフェレスに詰め寄ってきた。この映画館で生まれ育ち、ここが好きなロックにとって閉館になるということは何よりもショックな事なのだ。

脚本／北条千夏・ひろたでんきち　絵コンテ／秦泉寺博　演出／秦泉寺博　作監／堀澤聡志

第59話　夢に唄えば　12／2放映

ホラウッドの映画プロデューサー、ウォルターズデニックが、フェナリナーサを舞台に映画を作るため、フェナリナーサの伝説に詳しいパパに美術考証人として協力をしてほしいとノコッタインへやってきた。と、そこへやってきたモモ。その時ズデニックの目が光った。モモこそ主役のモモ役に相応しいと、主役オーディションを受けるように進める。そしてオーディションの日、なんと初代モモもその会場へ来ていたのだ。

脚本／北条千夏　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／三島利佳

第60話　夢の彼方に　12／9放映

映画制作がおぼつかず、ズデニックは落ち込んでいる。と、その時見た夢の中にフェナリナーサのイメージが浮かび上がった。ハッとなりズデニックは再びやる気を取り戻す。でも撮影所やフィルム、音楽に役者とないないずくしだ。でもここには夢があるから大丈夫と初代モモはズデニックを励ます。とにかく8ミリだけどカメラはある、主役のモモも2人いる。でもエキスキラと人手が足りなきゃ映画にならない。どうするモモ…。

脚本／首藤剛志　絵コンテ／わたなべひろし　演出／わたなべひろし　作監／わたなべひろし

※58話の演出は、'92.10／21現在での予定です。

※タイトルは、'92.10/21現在までに決定しているものです。

第61話 燃えよ！スクラップ!? 12/16放映

今ノコッタパークの隣の空き地が、ゴミで一杯だ。新しいゴミ処理場が出来るのでゴミが集められているのだ。その夜モモは、ある声に起こされる。声を辿って隣の空き地に出ると、呼んでいたのはゴミたち。ただ処分されるのはイヤだと言う彼らは、どこか自分たちがいられる場所へ連れていってと願う。モモは魔法でいろんな所へいくがどこも追い出され、最後は宇宙へ…。もうゴミたちがいられる場所は、地球上にはないのか？

脚本／北条千夏　絵コンテ／藤本義孝　演出／藤本義孝　作監／つるやまおさむ

第62話 最終回（題名未定） 12/23放映

ついにこの星に残っていた夢のかけらがなくなり、モモの魔法のエネルギーがなくなってしまう日がやってきた。夢と希望によって存在できた物の全てが、この世界から次々と飛び去り始め、マリンナーサも宇宙へ脱出するための準備を始めていた。夢のない世界にモモを残せば、モモは消えていくしかない。王様と王妃様はモモへ直通電話をかけ、明日の夜明けの一瞬にマリンナーサは地上へ出るから、その時モモに飛び乗れと伝えた。あまりに急なことでモモは戸惑うのだった。

脚本／首藤剛志　絵コンテ／湯山邦彦　演出／加戸誉夫　作監／とみながまり

原案、監修・首藤剛志インタビュー

現代に問う、夢の結末とは……

しゅどうたけし●'49年8月18日福岡県出身。19歳で「大江戸捜査網」でシナリオデビュー。以後数々のアニメシリーズのシナリオを手がける

——新作を描かれるにあたって、始めはどんな構想があったんですか。

首藤　ある程度モモの世界というのは旧作で描き尽したという思いがあるんですよね。だから旧作で言っていた理想像〝いつかきっと〟の世界に今の時代がどれだけ、近づいているか、あるいは遠ざかっているのか、を新作では描くしかないだろうと思っていました。

また今の若手の脚本家ってオリジナル書く場が全然ないんですよ。だから基本的な部分をぼくと湯山邦彦さんとで押さえて、あとは若手に自由に書かせれば、ある程度、時代が見えてくる作品になるんじゃないかなとも考えていました。自分の世界を作れる脚本家が育つよい機会になると思ったんですが、結果的には随分苦労させられましたね。アニメのパターン化した作品に慣れた脚本家には、自分の世界を表現するのが、どうも苦手のようで、オリジナリティのある感性がでてこない。結局、アニメ脚本にあまり慣れていない人達が残るという皮肉な状況になってしまいました。

——新作って前半に比べて後半はノリが良くなってきたように思うんです。それは後半精力的に脚本を書いている面出さんや北条さんが原因になっているんですか。

首藤　この作品から誰かが育ってもらわないと悲しいですからね。むしろ、これは湯山さんのお手柄だとおもうんですけれど、この作品で、若手の演出やアニメーターが、伸びてきたと思うんです。だから、脚本が、それに拮抗しきれていない部分もあって、もったいない気がします。

——39話「モモとモモ」の旧作とのつながりについてなんですけど

首藤　単なるゲストではない旧モモを登場させようと決めたら、「ミンキーモモ」は、旧作に新作と足した十年越しの物語になるしかありません。

——始めは新作と旧作は別々の作品にしたかった、ということですか。

首藤　脚本の力で新作としての世界を構築できればよかったのですが、新モモが活躍するに足る魅力的な世界や対抗キャラが出て来ないなら、旧モモとそのテーマに出てもらって、相手をしてもらうしかないってことかな。

——となると新作の最終回って、この10年越しの「ミンキーモモ」という物語の最終回になるわけですよね。

首藤　テーマは重いんだけど、モモのキャラで表面的には明るい。恐らくアニメでこんなテーマが描かれるのは初めてなんじゃないか、というぐらいヘビーな話になります。夢に対する今の現状を語らざるをえない結末にね。後半で、モモを追い込んだ以上、当然そうなるんですが。ただ気になるのは、それが僕の見た現代。つまり旧作を書いている人間が、今の夢と希望について語っていますから、おじさんが「今の若いもんは」と小言を言っている匂いがするかもしれない。若い脚本家達に現代を語って欲しかったんですが、難しかったようです。ま、それなら、これでもええだばとも思っています。

もくじ

■構成……山岡有子
■執筆協力……岡崎信治郎、石坂 和、田中久美子
■写真……三田部 勉
■編集……島田浩志(てれびくん)
■レイアウト……ISTVAN
■表紙原画……とみながまり
■協力……葦プロダクション、スタジオライブ、斉藤良一、山本尚基、新アニメーション資料保存会

THIS IS ANIMATION SPECIAL

魔法のプリンセスミンキーモモ

1992年11月20日　第1刷発行

編集兼発行者／田中　一喜
発行所／小学館
〒101-01　東京都千代田区一ツ橋2-3-1
振替　東京8-200番
印刷所／共同印刷株式会社

小学館

電話（編集）03-3230-5991（業務）03-3230-5333（販売）03-3230-5747　ISBN4-09-101572-7